

大藏省考課狀

二

國債寮 明治六年七月ヨリ
 九月ニ至ル
 藩債帳并證書ノ
 部
 共五冊

第一類	二七七冊	十九架	一三六兩
-----	------	-----	------

西宮文庫

2 A
 35-4
 1259
 1259

藩債帳并證書一部



大藏省 考課狀

國債 寮

債帳并證書ノ部

明治六年七月
二至

目次

第一號

外務省出仕安田報藏ノリ舊國藩ノ調達金ノ儀

ニ付申牒

第二號

秋田縣ノリ舊秋田縣負債追加ノ申牒

第三號

青果天

大藏省

埼玉縣ヨリ九屋次郎助曰忍縣へ調達金ノ儀ニ付申候

第四號

大坂府へ山片平右衛門公債證券下付スヘカラスルノ達旨

第五號

京都府ヨリ筆族中御門經次公債證券處分ノ稟候

第六號

京都府ヨリ公債調帳不明瞭違算等ノ件ニ付稟

問

第七號

任軍省ヨリ山口縣管民小松謙次郎へ係ル公債證券ノ儀ニ付商議

第八號

神奈川裁判所ヨリ長野縣管内竹内権次曰巖原藩へ小銃賣却滞金調書ノ儀ニ付回答

第九號

東京府ヨリ木平長兵衛曰山崎縣村々へ貸金處分ノ申候



第十號

京都府ヨリ公債證券點汚ニシニ付稟議

第十一號

名東縣ヨリ曰鶴田藩負債ノ儀ニ付申牒

第十二號

愛知縣ニ曰今尾藩負債ノ儀ニ付達旨

第十三號

東京府ヨリ荒井太郎兵衛外一人曰藩ニ調達

金證書遺燒等ノ儀ニ付稟候

第十四號

東京府ヨリ伊藤平九工門曰唐津關宿兩藩ニ係
ル積金謀ノ稟候

第十五號

坂縣ニ曰館林縣ヨリ河内國丹南外二郡ニ係ル

負債ノ儀ニ付達旨

第十六號

東京府ヨリ松田町瀬尾伊助曰秋田縣兵隊糧食

代滞證書ノ儀ニ付照會

第十七號

茨城縣ヨリ曰水戸藩負債遺漏ニ付追加ノ申牒



第十八號

京都府ヨリ公債證券請取方ノ儀ニ付申候

第十九號

大坂府ハ近江屋熊藏外二名ヨリ曰小濱藩ハ係
ル負債ノ儀ニ付達旨

第二十號

新川縣ヨリ曰金澤縣道路修繕費用ノ儀ニ付申
候

第二十一號

磐前縣ヨリ曰中村縣負債ノ儀ニ付稟候

第二十二號

大坂府ハ田中六兵衛外五人ヨリ調達金蓄姫路
外三藩負債ノ儀ニ付達旨

第二十三號

千葉縣ヨリ曰古河縣未吉勘四郎ハ預ケ金ノ儀
ニ付申候

第二十四號

東京府下三谷三九郎ヨリ公債證券讓渡願ノ儀
ニ付申候

第二十五號



山形縣へ舊朝日山縣負債、儀ニ付稻田昌右衛門呼出ノ達旨

第二十六號

大坂府ヨリ公債證券請取方、儀ニ付申牒

第二十七號

高知縣ヨリ貫屬川田喜祐旧高知藩へ調達金、

儀ニ付稟候

第二十八號

豊岡縣ヨリ旧篠山旧宮津兩縣先納金證書、儀

ニ付申牒

第二十九號

磐前縣ヨリ立谷重尤二衛門旧中村縣へ調達金

處分ノ稟候

第三十號

兵庫縣ヨリ舊宮津外二藩負債處分ノ稟候

第三十一號

京都府ヨリ西村吉兵衛外一人新公債、儀ニ付

申牒

第三十二號

堺縣ヨリ旧吉見縣外二縣負債、儀ニ付申牒



第三十三號

福岡縣ヨリ曰藩々米谷及債證文ノ儀ニ付稟候

第三十四號

滋賀縣ヨリ曰官津縣管内近江國村々辛未年貢

金先納證書進達ノ申牒

第三十五號

三重縣ヨリ伊勢國三重郡外二郡ヨリ曰志縣ハ

係ル負債ノ儀ニ付申牒

第三十六號

千葉縣ヨリ曰菊間縣七族積石金并震災手當金

處分ノ申牒

第三十七號

千葉縣ヨリ七族池田八郡曰加知山藩ハ調達金

處分ノ申牒

第三十八號

東京府ヨリ貫屬七族山崎増藏外八人ハ公債證

書下付ノ儀ニ付申牒

第三十九號

司法省ヨリ曰黒羽縣貫屬大沼活翁外一人ハ掛

ル負債ノ儀ニ付商議



第四十號

長崎縣ヨリ曰平戸縣負債ノ儀ニ付申牒

第四十一號

高知縣ヨリ曰官員七長岡敷美茂辰平小豆嶋取

歸中諸費用ノ儀ニ付申牒

第四十二號

秋田縣ヨリ曰秋田縣渡不足米金下付ノ稟候

第四十三號

東京府ヨリ府下長井林重調達金證書焼失ノ儀

ニ付稟問

第四十四號

長崎縣ヨリ笠野吉次郎舊福江縣ニ調達金ノ儀

ニ付稟候

第四十五號

長崎縣ヨリ舊福江縣ニ嶋鯉節製造税金先納ノ

儀ニ付稟候

第四十六號

秋田縣ヨリ舊龜田縣東京芝山内容山ヨリ借入

金ノ儀ニ付申牒

第四十七號



三重縣ヨリ曰長嶋縣負債金届漏、儀ニ付稟候

第四十八號

岐阜新潟兩縣ヨリ曰村上郡山内縣負債、儀申
牒ニ付京都府へ達旨

第四十九號

司法省ヨリ京都府貫屬士族加藤定保外四人決
放ノ回報

第五十號

東京府ヨリ和田徳兵衛外二人曰福江縣へ調達
金、儀ニ付申牒

第五十一號

開拓使ヨリ管内箱館縣天町榊富右衛門へ係ル
高知縣負債、儀ニ付商議

第五十二號

和歌山縣ヨリ曰和歌山藩負債、内達算ノ儀ニ
付申牒

第五十三號

新川縣ヨリ舊富山藩於テ曰知軍賞典米代金、
内借入ノ儀ニ付再請

第五十四號



福岡縣ヨリ曰福岡縣負債ノ内譲渡證文ノ延達

第五十五號

奈良縣ヨリ曰田原本縣負債延償ノ儀ニ付申候

第五十六號

飾磨縣ヨリ曰明石縣辛未買上米代取消ノ儀ニ

付申請

第五十七號

名東縣ヨリ曰近藤利平曰鶴田藩へ調達金處分ノ

儀ニ付稟候

第五十八號

秋田縣ヨリ曰岩崎縣負債ノ儀ニ付稟報

第五十九號

千葉縣ヨリ曰菊間縣貫屬家作料證書ノ儀申請

第六十號

愛知縣ヨリ曰西尾縣負債ノ内譲渡金ヨリ返納

ノ分猶豫ノ稟候

第六十一號

三重縣ヨリ舊津縣撫育金訊問ノ儀ニ付呼出ノ

舊官員病氣ニ付猶豫ノ稟候

第六十二號

新川縣ヨリ宮林彦九郎外一人舊富山藩へ調達
金ノ儀ニ付再候

第六十三號

新潟縣ヨリ舊新發田藩錢幣證書紛失ノ分發見
ノ儀ニ付稟候

第六十四號

十津縣ヨリ筒井忠順四郎井縣へ調達金ノ儀ニ
付申候

第六十五號

長崎縣ヨリ舊嚴原縣負債對馬國人民調達金公

債處分猶豫ノ稟候

第六十六號

小田縣ヨリ舊庭瀬高梁兩縣堤防道路修築入費
下付ノ稟候

第六十七號

滋賀縣奈良縣ヨリ四郡山藩負債金届漏ノ儀ニ
付申候

第六十八號

兵庫縣ヨリ四半原縣負債ノ内攝津河邊郡村々
調達金處分ノ儀ニ付申候

第六十九號

大分縣ヨリ山田作兵衛外二人舊久留米藩へ調
達金相違、儀ニ付申牒

第七十號

山口縣ヨリ士族林友衛舊嚴原藩砲條砲鑄造代
價、儀ニ付申牒

第七十一號

北條縣ヨリ舊鶴田縣貫屬郎完入賞拂不足、儀
ニ付申牒

第七十二號

京都府ヨリ福井市郎右衛門四川越藩へ調達金
處分、申牒

第七十三號

三潞縣へ舊柳川縣管下金王共舊縣へ調達金調
方、儀ニ付達旨

第七十四號

廣嶋縣ヨリ船越八百十郎公債證書下付、稟候
第七十五號

滋賀縣ヨリ舊公債證書賣買、稟候

第七十六號

滋賀縣ヨリ大村勘七外四人舊彦根藩へ調達金
届落ノ儀ニ付再牒

第七十七號

岡山縣ヨリ新舊公債證書下付ノ儀ニ付稟請

第七十八號

岡山縣ヨリ武田利總平外三人曰岡山藩へ調達
金割年無爲ニ付訂正ノ申請

第七十九號

司法省へ滋賀縣管内神崎郡服部村森野庄兵衛
外一人曰嚴原藩へ調達金ノ儀ニ付商議

第八十號

石川縣ヨリ濱中八三郎外七人舊大聖寺縣へ調
達金ノ儀ニ稟報

第八十一號

熊谷縣ヨリ秩父男余兩郡村々舊忍縣へ調達金
ノ儀ニ付申請

第八十二號

石川縣ヨリ舊金澤藩管下為替會社兌換金ノ儀
ニ付再候

第八十三號

小業縣ヨリ舊櫻井縣へ調達金届漏ノ儀ニ付申
牒

第八十四號

三潞縣ヨリ舊柳河縣負債再調ノ儀ニ付申牒

第八十五號

滋賀縣ヨリ舊宮川藩仕法講利益金證書進達ノ
申牒

申牒

第八十六號

佐賀縣ヨリ舊嚴原藩負債ノ儀ニ付再願

第八十七號

大阪府ヨリ公債證券下付ノ際取調帳ニ符合セ
ルニ付申牒

第八十八號

大阪府ヨリ公債下付ノ儀ニ付申牒

第八十九號

開拓使ヨリ藩債證書差出方公布ノ儀ニ付回答

第九十號

京都府へ舊嚴原縣藩債真偽精細取亂ノ儀ニ付
旨

旨

第九十一號



埼玉縣ヨリ米券上納ノ申牒

第九十二號

滋賀縣ヨリ管内近江國大上郡高宮村不破弥三
郎外二人舊考最縣ハ米券引當調達金ノ儀ニ付
稟候

第九十三號

滋賀縣ヨリ舊大津藩管内村ハ調達金ノ儀ニ付
再牒

第九十四號

滋賀縣及ヒ豊岡縣ヨリ近江國村ハ先納金ノ儀

ニ付申牒

第九十五號

磐前縣ヨリ舊中村縣負債ノ儀ニ付再候

第九十六號

和歌山縣ヨリ舊和歌山縣松阪羽書方納拂不足
金下付ノ儀ニ付内譯帳ノ進達

第九十七號

滋賀縣ヨリ管内近江國野洲郡守山村鶴飼儀九
衛門外二人舊宮津藩ハ調達金ノ儀ニ付稟候

第九十八號



和歌山縣ヨリ舊縣種貸米納切取調帳簿ノ進達
及ヒ三重度會兩縣ハ、進達

第九十九號

愛知縣ヨリ鈴木市三郡等舊藩ハ掛込請金處分
ノ儀ニ付稟候

第百號

新川縣ヨリ管下宮林彦九郎外一人旧富山藩ハ
調達金勘定書ノ進達

第百一號

奈良縣ヨリ舊小泉縣給祿渡シ米不足セシニ付

下付ノ儀申請

第百二號

司法省ヨリ滋賀縣管下森野庄兵衛外一人旧嚴
原藩ハ調達金裁判ノ商議

第百三號

白川縣ヨリ舊熊本縣堤防其他營務費用ノ儀ニ
付稟候

第百四號

青森縣ヨリ管内今村九光衛門外四名舊弘前藩
ハ調達金ノ儀ニ付稟候



第百五號

滋賀縣ヨリ管内蒲生郡八幡所小田新次郎外一
名舊嚴原藩へ調達金ノ儀ニ付申牒

第百六號

千葉縣ヨリ北邊田村外二十五ヶ村舊淀藩へ調
達金調漏ノ儀ニ付申牒

第百七號

鹿兒嶋縣ヨリ舊鹿兒嶋縣營繕費用ノ儀ニ付達
請

第百八號

奈良縣ヨリ藤井仲沼處哥ノ稟報

大藏省考課狀

國債寮

藩債帳并證書ノ部

明治六年七月ヨリ九月ニ至ル

第一號

外務省出任安田轍藏ヨリ去ル明治庚午辛未兩
 年中徵臣大坂在職ノ際舊岡藩頼談ニ依テ別紙
 證書寫ノ如ク金六千圓調達セシニ其後諸藩貸
 附金ノ儀ハ追テ下命ノ旨之レ有ル可シトノ布
 達ヲ蒙リシヨリ元利共償還ナキニ付成規ノ如
 ク裁斷ヲ仰クト申牒セリ
 七月二日



第二號

秋田縣ヨリ曰秋田縣負債ノ内秋田郡小館花村於テ米拾六石五斗調落ノ分裁許ヲ經シ如ク藩債帳ヘ追加セシ旨申牒セリ
七月二日

第三號

埼玉縣ヨリ管内埼玉郡行田町九屋次郎助外三十名ヨリ曰悉縣ヘ調達金八千貳百四拾六圓ノ引當トシテ曰藩札同額ヲ次郎助ヘ下付シ返償期限ニ後ル、片ハ勝手ニ使用スヘキ約定ナルニ由リ壬申年四月ヨリ漸次使用セシ旨申報ス

ルヲ以テ證書ヲ徵收シ曰悉縣残用掛ノ者ヨリ差出シ藩債元帳ヲ削除アラシメテ申請セリ因テ別帳取纏ノ上進スト申牒セリ
七月二日

第四號

大阪府ヘ其府下北濱通五所目山片平右工門ヘ下付スヘキ公債證券ハ僉議ノ旨アルニ由リ下付スヘカラス因テ曩ニ下付セシ帳簿ノ内ニ同人姓名ヲ登記スト雖モ右ノ旨趣ヲ領置スヘシト達旨セリ
七月四日

第五號



京都府ヨリ東京府貫屬華族中御門經之公債證
 券及現貨等ノ類向キニ當府ヘ下付アリシハ當
 初當府貫屬ノ故ナルヘシ即今他管ニ屬スルヲ
 以テ貴省ヘ返納スヘキヤ又ハ當府於テ所分ニ
 及フヘキヤト別紙取調書ヲ副ヘ稟候セリ因テ
 既ニ貫屬晉セシ者ナレハ其公債證券及現貨書
 冊等總テ銀行ニ托シ返納スヘシト指令セリ七
 日四

第六號

京都府ヨリ向キニ下付セシ公債調帳ノ内不分

解且ツ計算等整頓シ難キ件アルニ由リ鈔録シ
 テ指揮ヲ仰クト稟問セリ因テ不分解ノ件ハ附
 箋ノ如ク了解シ且建策ノ分増減現金三拾七錢
 五厘ハ追テ下付スヘシト回答セリ
 四月

第七號

陸軍省ヨリ山口縣管民小松謙次郎ハ係ル公債
 證書ノ儀貴省ヨリ同縣ヘ下付アル可キ手續キ
 ナレ氏當省大阪田出張所ニ關涉スル事件之レ
 有ルニ由リ同縣ヨリ當省ヘ照管アル可キ旨同
 縣令ハ至急指揮ヲ請フ且證書ノ金員モ併テ田



報ヲ得ント商議セリ因テ右ノ證券ハ既ニ同縣
 官ヘ下付セシニ由リ直ニ同縣令ヘ照管アル可
 ク且金員ハ五千九拾壹圓六拾六錢七厘ナリト
 回答セリ
 五月
 日

第八號

神奈川縣裁判所ヨリ長野縣管内竹内輝次瑞西
 國商人フワゲルヨリ買得ノ小銃舊藤原藩ヘ賣
 却セシ金額溢滞ノ儀ニ付フワゲル此控告ノ件
 丸
 彈ノ顛末嚮ニ屢往復シ其末輝次ヨリ同藩負債
 ノ儀期限内申報ナキヲ推問セシニ亦申年三月

中武庫司ヘ出仕シ公布ノ旨趣其筋ヨリ達セサ
 ルヲ以テ申報セサル旨申出ルニ付如何處分ス
 ハキヤト商議セリ是ニ於テ其情實餘儀ナキニ
 由リ滯金五百九拾五圓員債一般ノ處分スハシ
 但詮書面井出佐太郎近藤菊太郎ノ名宛ナルハ
 不都合ニ付推査ノ上報知アリタシト回答セリ
 五月二日乃本人及菊太郎ヲ推査セシニ本人ヨリ別
 紙甲子ヲ以テ右品賣却ノ際菊太郎佐太郎兩人ハ
 錢砲職ナルヲ以テ軍務取扱ハセシニ由リ同藩ヨ
 リノ證券類ハ總テ兩人ノ名宛ナル旨申出菊太郎



ヨリ乙号ヲ以テ同一ノ旨申出ルニ由リ委曲了
解アリタシト別紙ニ通テ副へ回答セリ七月
九日

第九號

東京府ヨリ第四大区九小区小日向三軒町水平
長兵衛舊藩々へ調達金ノ内旧山崎縣管内播磨
國宍粟郡宇原村外一村へ貸金残員百八拾兩ハ
同人所持ノ證書面ニ藩債ノ名義ナリ領民私債
ノ姿ナルヲ以テ今一應調査ヲ請フト證書寫ヲ
副へ申渡セリ因テ證書ハ私債ノ姿ナレト同縣
ヨリ領民へ確證下付アルヲ以テ藩債ニ編入シ

公債ノ處分ニ及ヘシト回答セリ七月
五日

第十號

京都府ヨリ向キニ下付アリシ公債證券四葉取
扱中誤テ朱肉池ニ觸レ右隅ノ一處點汚セリ就
テハ更ニ交換ヲ得ヘキヤ文字ニ關係ナキ上ハ
此儘金主へ下付シテ妨ナキヤト稟議セリ是ニ
於テ文字ニ點汚ナケレハ其儘金主へ下付シテ
可ナリト回答セリ七月
七日

第十一號

名東縣ヨリ管内阿波國板野郡林寄村平民近藤



利平ヨリ曰鶴田藩へ調達金ノ儀ニ付別紙ノ如ク金千貳百七拾壹圓去ル庚午年ヨリ追次返辦ノ残高ノ旨ニ付北條縣へ商議セシニ相違ナキ旨回答セリ尤利平藩債取扱不案内ノ故ヲ以テ證書上達遅緩セル旨申出タルニ由リ外負債同一ノ高裁ヲ仰クト其願書及ヒ北條縣答書ヲ副へテ申牒セリ因テ利平證書寫差由方期限ニ後レタル事情不分明ニ付右手續取乱シ更ニ申立ヘシ依テ本證書ハ下付スト指令セリ七月

第十二號

愛知縣へ先般當省官員負債査點ノ為ノ其縣へ派出ノ際愛知郡南野村横江鎗一郎ヨリ曰今尾藩へ調達金貳百圓ノ甲号證書ハ辛未年上建ノ乙号證書ト符合セラル儀ハ其際金主方へ本證書ヲ預ケ置キ心覺ヲ以テ書上ケセシニ由リ齟齬セル旨上申セシニ同藩ヨリハ却テ乙号ノ證書ヲ以テ申牒シ方今本證書ト為ス所ノ分ハ別種ノ借用ニテ既ニ返償済ナリトノ彼是曖昧タル儀不都合ニ付別紙上書寫等ヲ副送スルニ付旧官員へ尋問ノ上仍ホ審細取乱シ金主上書へ捺



印々シノ至急上呈ス可シト別紙ニ甲乙ノ号ヲ
掛ケテ達旨セリ七月
八日

第十三號

東京府ヨリ赤坂一ツ木町荒井太郎兵衛曰藩々
ハ調達金證書四通去ル至申年四月中ニテ遺失
セシニ由リ其際實省負債掛及ヒ其區警視出張
所ヘモ申報セシ旨這回別紙ノ如ク申請セルニ
由リ糺査セシニ事實明白ナルヲ以テ公債證書
下付スヘキヤ又深川和倉町植村丹右衛門舊黒
羽縣ハ調達證書一通本年三月中類焼ノ際焼失

セシ旨申請セルニ付糺査セシニ事實確實ナル
ニ由リ是亦同一處分スヘキヤ至急指揮ヲ得ン
ト願書調書等ヲ副ヘ稟候セリ因テ兩件共ニ不
都合ナレド事實明確ノ上ハ特別ノ詮議ヲ以テ
聴取スルニ由リ候スル所ノ如ク處分スヘシト
指令セリ七月
八日

第十四號

東京府ヨリ市ヶ谷田所伊藤平左衛門舊唐津關
宿兩藩ニテ取立シ積金講ヘ加入セシヲ以テ別
紙願書ノ如ク申出ルニ由リ處分ヲ得ント稟候



キリ因テ辛未年十一月申諸調達金證書寫進達
ノ期限ニ後レタルヲ以テ聽許シ難キ旨ヲ達ス
ヘシト指令セリ
七月
八月

第十五號

坂縣ハ其縣管内河内国丹南外二郡四十三ヶ村
田畑抵當トシ別紙證書ノ如ク庄屋亦寄連印ヲ
以テ大阪為晉會社ヨリ金壹萬兩借入其際舊館
林縣ヨリ古村々へ證據物等下付ノ有無審査ノ
上至急申牒スヘシト達旨ノ未坂縣ヨリ前三郡
總代共ヲ推問セシニ別紙ヲ以テ右ハ藩債ニ相

違ナキニ由リ旧縣ヨリ書類ヲ收置ニ尤其書面
ハ金貳萬五千兩トアレ右ノ内金壹萬兩ハ大
阪府下商山中等右衛門取次壹萬兩ハ同府下中
原庄兵衛取次五千兩ハ同地大西惣次郎取次ニ
テ證書三通ナル旨申出ト舊縣ヨリノ本書ヲ副
ヘ申牒セリ
七月
九月

第十六號

東京府ヨリ第一大區十一小區松田町瀨尾伊助
舊秋田縣取締兵隊糧倉代金滞ノ儀ニ付司法省
へ出訴ノ末事情已ハク得ナルヲ以テ負債一般

ノ處分アル可キニ付テハ證書寫勅定書トモ差
出ス可シトノ建背ヲ領シ則其書類別冊ノ如シ
ト伊助後見小池厚助ヨリ進建スル所ノ明治三
年七月ヨリ同四年三月迄四秋田縣市中取締兵
隊給料滞金合高壹萬貳千九百貳拾八兩壹分銀
拾壹匁九釐ノ内進次受取殘金千三百七拾五兩
三分銀七分三分六厘ノ不足相違ナシトノ證書
及ヒ勅定明細書ヲ副ヘテ照會セリ九月

第十七號

茨城縣ヨリ四水戸藩負債ノ内辛未年ノ申牒ニ

遺漏セシ分ヲ追加帳ニ登記シ舊縣官員ヨリ殘
務取扱ノ者員少ニテ調査遷延セシノ旨別紙ヲ
以テ申出ルニ由リ粗漏ニ屬シ且時日遷延セシ
ハ不都合ナリト雖モ聽許ヲ得ント申牒セリ七
日九

第十八號

京都有ヨリ爾後當齊管内ヘ公債證券下付ノ分
ハ出張折詰大屬山口安行ノ假證ヲ以テ請取リ
追テ長官ノ本證ト交換セント申牒セリ七月

第十九號

大

大阪府へ其府下商民近江屋熊藏外二名ヨリ曰
小濱藩へ係ル負債ニ付旧官員ヨリ別紙ノ如ク
上申セル旨ヲ其所轄敦賀縣ヨリ申牒セルニ由
リ證書ノ真疑及ヒ調達創年等篇ト札査ヲ遂ケ
詳細具狀スヘシ且熊藏ヨリ銀四拾貫目調達ノ
引當沽券狀寫ヲ進達スヘシト達旨セリ
七月
第十日
第二十號

新川縣ヨリ曰金澤縣道路修繕費用ノ儀向キニ
上申ヲ經テ下付スラル、所ノ金合計三百貳拾
八圓四拾九錢壹厘ヲ以テ落成セラルニ由リ右出

來形精算帳及ヒ一村限金高帳ニ進達ス卜申牒

セリ
七月十
四日

第二十一號

磐前縣ヨリ曰中村縣於テ買入米代金トシテ古
川市兵衛ヨリ金三萬兩借用ノ内壹萬五百兩ヲ
兌換シ庚午年海軍資金ノ口へ上納セシニ右引
當米ノ内回漕中難艱セラルニ由リ返償ノ目途ナ
キヲ以テ辛未年租稅ノ内ヲ以テ補ヒ度旨昨申
年二月中稟候セシニ右ハ藩債ニ立テ追加スヘ
シトノ指令ノ旨曰官員へ傳告セシニ沈没米ノ

青葉天

大

外殘米代金ハ利足及ヒ元金高ノ内へ返償シ其
殘金ハ負債追加ニ立ツ可キ哉ノ旨旧官員ヨ
リ申牒セラルニ付請フ其指揮ヲ得ント別紙任譯
書ヲ副ヘテ稟候セリ因テ古川市兵衛ヨリ借入
殘金壹萬五百圓ハ先般達旨ノ如ク負債一般ノ
處分ニ付スヘキニ由リ藩債追加帳上呈ス可ク
右引當米拂代殘金四ノ貳百七拾七圓四拾九錢
貳厘ハ出納寮へ別途上納ス可シト指令セリ
七月十四日

第二十二號

大阪府へ其存下商民共ヨリ舊姫路外三藩へ係
ル負債ニ付各舊官員ヨリ別紙取調書六冊ヲ副
へ申出ルノ旨其所轄飾磨縣ヨリ申牒セラルニ由
リ證書ノ真疑及調達創年且數年來督促ナキ情
實審査ノ上委曲具狀スヘク其他難波屋太助同
稱太郎謙金ノ儀ハ相對濟ノ旨ヲ達シ證書下付
スヘシト達旨セリ
七月十四日

第二十三號

小葉縣ヨリ曰古河縣分轄地攝州平野郷支廳於
テ掛屋末古勘四郎へ預ケ殘金一兩ハ證書ヲ以



テ同人ヨリ同縣本廳へ送致シ隨テ印捺縣へ
引渡セシカ右千兩ハ普通貸下金ノ旨趣ニ非ス
彼此商議中期限ニ後レケルヲ以テ大阪府へ同
人ヨリ返償ノ儀ヲ依頼セシニ別紙ノ如ク同人
ノ申請書ヲ送致セリ蓋シ同縣ヨリ同人へ預ケ
シ平野郷殘金六千貳百貳拾三圓四拾八錢七厘
ノ處同人ヨリ同縣へ調達金七千六百圓ノ内之
ヲ引去リ殘金千三百七拾六圓五拾壹錢三厘ハ
公債ノ處分タルヘキ指令アリ就テハ右千兩モ
公債千三百七拾六圓餘ノ内於テ引去然ルヘキ

カト同人借用證書及ヒ申請書ヲ副ヘテ申様セ
リ因テ申請ノ旨趣頗ル其理アリト雖モ同人公
債證券ハ既ニ大阪府へ下付セシニ由リ本年第
八十一号公布ニ照準シ貸附一般ノ處分ニ及ヘ
シト指令セリ七月十

第二十四號

東京府下深川大住町三谷三九郎ヨリ曰諸藩へ
調達金公債證書ヲ得テ三井治部右衛門へ讓渡
シ度ニ付本年三月中東京府へ申請セシニ未ク
建旨ナキヲ以テ建田治部右衛門ヨリ同府へ稟

青野氏

大藏省

候マシニ未夕貴省ヨリ下付ナキニ由リ直ニ稟
候スヘキ旨指揮アルヲ以テ速ニ右證書下付ヲ
得テ治部右衛門へ譲渡ノ先可ク乞フト治部右
衛門連印ヲ以テ申牒セリ於是東京府へ其府下
三谷三九郎へ下付ス可キ公債證書ハ三井治部
右衛門へ譲渡タキ旨願ノ如ク聽取スルニ由リ
同人所持ノ證書ハ徵收シ公債證書ハ治部右衛
門へ下付ス可シ但シ右ノ旨趣三谷三九郎へ達
スヘシト達旨シ且ツ三井治部右衛門へモ三谷
三九郎願ノ如ク聽取シ其旨東京府へ達旨セリ

ニ由リ公債證書受取方ハ同府へ申立ヘシト達
旨セリ七月十日

第二十五號

山形縣へ其縣貫屬稲田昌右衛門儀舊朝日山縣
負債一條ニ付尋問ス可キ筋之レ有ルニ由リ至
急上京當省へ出頭セシム可シト達旨セリ七月
十九日

第二十六號

大阪府ヨリ東京出張所在勘史生林宗親へ負債
掛リ兼發ヲ命セシニ由リ爾後同人捺印ノ證書

青葉

大蔵

官

和

大

和

ヨ以テ公債證券下付ヲ得ント其勅令トシテ印
影一葉進達スト申牒セリ九月十日

第二十七號

高知縣ヨリ當縣貫屬士族川田喜祐旧高知藩ハ
調達金ノ儀ニ付款額別紙ノ如ク向キニ藩券ヲ
以テ同藩ハ差出金高貳百四拾圓此宛儀米三石
六斗五升以テ小身ノ生計ヲ營ミ在リシニ此田
布達ノ旨ヲ按スルニ昨至申年ヨリ二十五ヶ年
賦元金三ヶ年据置四朱ノ利息ヲ以テ償還アル
ヘキ部中ハ差加ハラレ可キニ付又更ニ之ヲ察

スルニ布達中金貳拾五圓以上ハ證券ヲ以テ下
付アリ貳拾五圓未満ハ明治六年ヨリ年數ニ應
ジ一割利引ヲ以テ現金一時償還ス可シトノ旨
ナレハ假令今全數ノ下付ヲ請フトモ裁許無カ
ル可キニ由リ三石六斗ノ石代新貨ニ引直シハ
拾圓ナレハ其内五拾五圓壹錢ヲ献納シ殘金貳
拾四圓九拾九錢ノ分ハ請フ一時ニ下付ヲ得ニ
トノ同人願意ノ儀ハ兼テ布達アリシ公債ノ成
規ニ照準ス可キ本條トシト雖モ其情實也トシ
得ナルニ付然ル可ク高裁アリ變ト別紙ヲ割ヘ



テ稟候セリ因テ右願意ハ即今聽取ニ難ク追テ
證券下付ノ末官ノ買上ヲ仰カハ何分ノ處置ス
可キニ由リ其期ニ至リ稟候ス可シト指令セリ

七月二
十五日

第二十八號

豊岡縣ヨリ曰篠山宮津兩縣管内先納調達金處
分方ノ儀向キニ稟候ヲ經指令ノ旨ニ從ヒ則チ
曰篠山縣ノ分金三萬八千七百圓先納人等へ下
ケ渡取計ヒタルニ由リ戻リ證書七通差出シ曰
宮津縣ノ分金九千五百七圓滋賀縣辛未貢金ノ

内へ爲替納方取計ヒ納札ヲ以テ同縣へ交付セ
シニ由リ右下ケ渡濟次第戻リ證書差出方及ヒ
近江國土功費用村長押印ノ勘定書進達ノ儀ヲ
モ照管シ置ケリト曰篠山縣戻リ證書七通ヲ附
シテ申牒セリ
七月二
十五日

第二十九號

磐前縣ヨリ管内中村町士族立谷室左衛門蕃中
村縣へ調達金六百圓ノ儀ニ付嚮ニ曰官員申白
書及證書寫ヲ副へ稟候セシニ辛未以後新規借
入セシハ不都合ナレト詮議ノ旨趣アルニ由リ



右金遣拂詳細調査スヘキ旨指令アルヲ以テ調
査セシニ曰中村縣管轄地ハ悉皆米納ナルヲ以
テ收租ノ内ヲ賣却シ公費ニ充ル曰習ナルニ其
際米價低下セルニ由リ一時同人ヨリ借入臨時
管内派出旅費及車費引渡ニ付磐城平へ出張等
ノ入費ニ使用セシ旨ヲ以テ別紙明細帳ヲ差出
シ事實不得止ニ由リ幸未引送り残米地拂金ノ
内ヲ以テ償却セシト別紙明細帳ヲ副へ稟候ハ
リ因テ候スル所ノ旨趣ハ專裁ノ所為ナリト雖
モ既往タルニ由リ特別ノ僉議ヲ以テ明細帳ノ

如ク聽許シ立谷重左衛門へハ負債一般ノ處分
スヘキニ付本人捺印ノ證書寫及内入金ノ有無
推問ノ答書ヲ副へ至急上進スヘシ且曰中村縣
負債追加帳モ亦同一ニ上達スヘシト指令セリ

七月二
十五日

第三十號

兵庫縣ヨリ本年第八十二號布告及責省第五十
八號達旨ニ照準ニ當縣管内ノ分藩債本證書ヲ
徵集ニ調査セシニ曰宮津麻田半原藩ハ負債ノ
内別紙寫ノ如ク示形或ハ通帳ヲ以テ借入其支



廳又ハ勘定所等ノ捺印アリト雖モ印面ノ文字
明瞭ナラサルニ由リ各藩旧官員ヘ尋問セシニ
別紙ノ如ク全ク各藩本廳ノ捺印ニ非サル旨申
出公債處分ノ當否決シ難キニ由リ指揮ヲ請フ
ト各舊官員ノ申報書ヲ副ヘ稟候セリ因テ候ス
ル所ハ目今調査中ナルニ由リ不日公債處分ニ
及フヘキ分ハ證書ニ勘定目錄ヲ副ヘ下付スヘ
シ其節不分解ノ件ハ再々申牒スヘシト指令セ
リ
七月二
十五日

第三十一號

京都府ヨリ當府管内新公債取調書ノ内了解
ノ條件ハ稟ニ稟候ノ際指示ヲ領セリ然ルニ西
村吉兵衛ノ分了解シ難キ所アルニ由リ別紙取
調書金員ニ朱唇ヲ加ヘ再々諮問ス且ツ竹原弥
兵衛ヨリ回書橋藩ヘ調達金調査差違セル旨別
紙ヲ以テ謝罪スルニ由リ送呈スト申牒セリ於
是西村吉兵衛分ハ更ニ調査ヲ經テ達スヘシ稟
日ノ分ハ取消ヘシ且竹原弥兵衛ノ上申唇ハ領
收スト回答セリ
七月二
十五日

第三十二號

馬場

大蔵

官

坂縣ヨリ大阪府下商山内五部兵衛外二十八人
ヨリ旧吉見尼ヶ峯三田ノ三縣へ係ル借用金申
報遺漏ノ件ニ更ニ調査セシニ別紙ノ如ク上書
セリト其各縣申立ル所ノ別冊ヲ副ヘテ申陳セ
リ於是テ金主ハ大阪府下ノ籍ニ係ルヲ以テ一
應照管ス可シト決シ乃チ大阪府へ其府下商山
内五部兵衛外四人ヨリ旧吉見及ヒ尼ヶ峯ノ兩
藩へ係ル負債旧官員ヨリ別紙ノ如ク申立ニ由
リ證書ノ真疑及ヒ旧藩於テ取調ノ際差出サ、
ル事實且遲滞セシ仔細ヲ検査シ詳細具狀スハ

シト達旨セリ 七月二
七日

第三十三號

福岡縣ヨリ今般公債償還方法ノ令ヲ領シ兼テ
旧藩ニ於テ領布ノ米券申年ヨリ出ルノ分ハ悉
皆返納ス可キ旨ヲ傳告セシニ元物産會社へ其
券ヲ振込金子借用セシ者往々之レ有リ右米券
廢絶スヘキニ付テハ會社へ返金ノ目途ナキハ
勿論入換引當品モ之レ無キニ由リ旧藩ニハ調
達金ノ内ヲ以テ差引ヲ申請セル者別紙ノ如ク
三通差出セリ就テ之ヲ考フルニ調達借用トモ

青果天

大藏

皆米券ノ一途ニ出テ邦移出納ノ儀ニモ非カレ
ハ強テ兩般ノ部分モ立テ難ク且同會社ニ於テ
償證文ト唱ヘ旧藩債證文引當ヲ以テ別帳人名
負數ノ如ク貸附金之レ有リ是亦前件同一ノ仕
方ニ付定テ漸次出願ス可キニ由リ右等如何處
分ス可キ哉ト願奉三通及ヒ貸付人名帳ヲ副ハ
テ稟候エリ因テ旧藩ニ米券及ヒ償證文等ヲ以
テ元物産會社へ振込借用金之レ有ル者旧藩へ
調達金額内ニテ引去願ノ儀ニ付稟候ノ趣貸借
トモ米券ノ一途ニ出ルト雖モ事情外縣へ差響

ニ付聴取シ難ニ由リ藩債貸附トモ各公布ノ如
ク其意ヲ得ヘク尤米券廢絶ニ付テハ新規引當
品ヲ受取ル儀ハ格別ノ課ヲ以テ用捨エル旨請
令セリ
七月二
十八日

第三十四號

澁賀縣ヨリ旧宮津縣分轄近江國村ニ奉去年夏
金先納ノ分ハ現今豊岡縣ノ所轄タルヲ以テ同
縣ヨリ爲晉納方取計ヒ納證書下付アルハキニ
付先納證書ハ債主ヨリ差出ナル當縣ヨリ直ニ
進達ス可シトノ照管ニ由リ則チ別紙ノ如シト

澁賀縣

大藏

金八千兩幸未先納仕送リ金高旧官員連印ノ證
書及々其利子又ハ證文之レ無キ口々等テ千五
百七圓合計九千五百七圓為替納方ノ仕譯書ヲ
副ヘテ申牒セリ因テ豊岡縣ヘ旧宮津縣分轄近
江國村々於テ先納金元利九千五百七圓ノ内八
千圓ノ交リ證書ハ滋賀縣ヨリ進達セシニ三百
貳拾五圓ハ證書ナキ口々差出金ノ内ニ籠リテ
ルトノ肯金主共申出ノ趣同縣ヨリ上申ナレバ
右證據ナキハ不都合ニ付旧官員取札ニ證據物
至急差出ヘシト達肯セリ
七月二
十八日

第三十五號

三宜縣ヨリ當管内旧忍縣分轄地伊勢國三宜郡
外二郡村々惣代伊藤小左工門外十一名ヨリ旧
縣ヘ調達金ノ儀別紙印印ノ如リ貴省官員派出
ノ條調査ナク其後一定ノ規則發令ナレバ何等
ノ処分ヲ得ス因テ更ニ調査ノ上證書下付ヲ得
タキノ肯取調書ヲ副ヘ申請セルニ由リ去辛未
年十一月公布ノ如ク期限内ニ旧縣廳ヘ證書寫
等上達セシヤト尋問セシニ別紙乙印ノ如ク辛
未年九月中旧縣ノ命ヲ領シ調達金總計録呈シ

青果天

天

天

詮書ハ已巳年間村民暴動、祭歌夫セシ旨稟報
セリ但同年後調達、分ハ詮書寫差出シ置尋
公布ノ旨ニ趣リ回縣ハ稟問セシニ當縣ヨリ既
ニ上進セシ上ハ別ニ其儀ニ及ハストノ命ナリ
シ等ノ旨上申セリ古書面ニテハ回縣官員公布
ノ旨趣ヲ誤解セシヨリ如此、紙給ヲ生シタリ
氏金主ニ於テハ公布ノ旨趣ヲ體認シ其順序ヲ
盡セルニ由リ聽許ヲ待ント申牒セリ六月二日因
テ埼玉縣ハ回忍縣負債ノ儀ニ付別紙ノ如ク三
重縣ヨリ申牒セルニ由リ金主上申ノ如ク差違

トキヤ回官員ヲ審査シ至急申報スヘシト達旨
セリ七月乃埼玉縣ヨリ達旨ノ如ク回官員ヲ推
問セシニ別紙ノ如ク金主ノ上申ニ差違トキニ
由リ粗忽ノ罪ヲ謝スルノ旨申出ト其書ヲ附シ
申牒セリ七月十是ニ於テ三重縣ハ向キニ申牒
セシ回忍縣調達金詮書寫期限内ニ上進セサル
ハ不都合ナレ氏金ク回官員公布誤解ヨリ釀セ
シニ由リ特別ノ詮議ヲ以テ聽取シ負債一般ノ
處分ニ及ハシ因テ金高及調達初年等ヲ調査シ
詮書寫及金主押印ノ勘定書至急上達スヘシ但

天
天
天

シ己巳年十月證書紛失ニ確證ナキ分ハ公債ニ
處シ難シト指令シ同日埼玉縣ハ其縣士族大竹
貞時曰忍縣分轄伊勢國出張奉職中金主ハ證書
寫上呈ニ及ハスト達セシハ辛未年十一月ノ公
布ニ違悖シ不都合ノ至ニ付其縣於テ適律ノ罰
ニ處シ稟報スヘシト達肯セリ七月二
十八日

第三十六號

千葉縣ヨリ曰菊間縣士族積石金并ニ濱島暢外
五十八名震災家作手當金ノ儀ニ付別紙ノ如リ
右ハ非常豫備トシテ家祿ノ内ヨリ蓄積シ貸附

所ハ預置シニ戊辰年曰藩移封ノ條一時調達金
ニ引直シ元帳ノ三ニテ別ニ證書等ナシト雖モ
藩債ナレハ一般ノ處分ヲ請フノ旨二口ノ取調
書ヲ附シ歎願セルニ由リ乃テ別紙四冊及同縣
旧官員書類ヲ副ヘテ申牒セリ因テ積石金ハ既
ニ藩費ニ充ルト雖モ證書ヲ下付セハ且震災手
當金モ亦證書ナシ庵地彦五郎外三十六人ハ證
書ヲレトモ辛未年十一月公布期限内申報セシ
ルヲ以テ乃期限後ニ屬シ申請ノ旨趣ハ總テ
聽計シ難シト指令セリ七月二
十八日

第三十七號

千葉縣ヨリ貫屬士族池田八郎田加知山藩へ調
達金ノ儀ニ付嘆願セラルニ由リ同縣舊官員ヲ糾
査シ且向キニ旧木更津縣ヨリ調達金證書寫等
取纏ノ貴省へ進達セシ副簿中ニ同人ノ件ニ判
然記載アルヲ以テ然ル可ク處置ヲ得ント同人
願書及旧官員答書證書寫等ヲ副へ申牒セリ因
テ案スルニ調達金證書寫本人ヨリ期限内差出
セラルニ何レニ於テ遺漏スシヤ官吏ノ過誤ヨリ
無事金主ヲ困難セシムルハ到底官府ノ失躰ト

旨做シ是ニ於テ調達金拾圓ノ證書申報ノ未ニ
至リ年續キ不都合ナレト特別ノ詮議ヲ以テ旧
木更津縣ノ簿冊ニ記載アルヲ確證トシ負債一
般ノ處分ニ及ヘシ但シ證書寫及勅定書共本人
ニ押印セシノ至急上進スヘシト指令セリ七月
日八

第三十八號

東京府ヨリ貫屬士族山崎增藏外八人へ公債證
書下付ノ儀ニ付別紙ノ如ク申請セラルニ由リ然
ル可ク高議ヲ請フト申牒セリ因テ山崎增藏外

八人願、趣聽許セルニ付公債ニ處ハ一キ分、
證書ハ其存ヘ下付スヘシト指令セリ七月二
第三十九號

司法省ヨリ東京府下深川清住所内藤鉄古俊見
西村文藏ヨリ曰黒羽縣貫屬大沼活翁外一人ハ
掛ル貸金滞リノ儀ニ付去ル三月中商議セシニ
公私ノ分未タ決定セズトノ責答ヲ領セリ今猶
未決議之レ無キ哉ト商議セリ因テ右ハ再應
問ヲ經テ別紙ノ如ク金三千七百六拾六圓六拾
貳錢五厘公債ノ處分ニ決定セリト其内譯書ヲ

副ヘテ回答セリ七月三日

第四十號

長崎縣ヨリ曰平戸縣負債ノ内文久三亥年炮臺
築造大砲鑄造及ヒ明治元年京都守衛費用ノ内
元所轄郡村ハ人民家産ノ多少ニ應シ貸上金ト
唱ヘ人口又ハ石高割ヲ以テ賦課セシ分ハ證書
等之レ無リ地方在役ノ者ヨリ受取書ヲ下付セ
シ已ニテ概ニ差上切願出猶又此際右同一出願
ノ者アレトモ金高員數等符合セザルニ付即今
查閱中ナレハ公債ノ處分ハ暫時延期ヲ請フト

稟候ニリ因テ候スル所ノ如ク其意ヲ得至急申
出ヘシト指令セリ七月三十一日

第四十一號

高知縣ヨリ戊辰年兵亂ノ際讚岐國屬地小豆嶋
及ヒ塩飽七嶋ノ土民騷擾セシニ付鎮撫トシテ
旧官員七長岡敦美同所出張中諸費用金ノ儀去
ル午年稟候セシニ附箋別紙寫ノ如シト其辨官
ヘノ伺書ヘ辨官之ヲ各藩諸道出兵ノ費用同一
ナル可シトノ裁許ノ書及ヒ其鎮撫中用達高木
總藏ヨリ費用金受取帳等ヲ副ヘ右費金ノ儀ハ

藩債同一ノ處分ヲ得ニト申候ニリ因テ小豆嶋
取締費金貳千百拾六圓九拾九錢七厘詮議ノ筋
之レ有ルニ由リ高木總藏請拂ノ元帳并ニ印章
之レ有リ證書ト成ル可キ書類至急差出ヘシト

達旨セリ七月三十一日

第四十二號

秋田縣ヨリ旧秋田縣渡滞り米金取調書負債同
一ニ向キニ貴省ヘ進呈セシ趣旧官員ヨリ申送
アレモ尚ホ一應檢閲セシニ渡滞り米總計五百
拾貳石五斗六年七合及ヒ金總計四萬六千三百



八拾七圓貳拾五錢七厘毫右、内米四百七拾八
石五斗八升貳合金六千四百三拾貳圓八拾三錢
五毫四ノ減少ニテ殘米三拾三百九斗八升五合
殘金三萬九千九百五拾四圓四拾貳錢七厘毫
六現今ノ渡滯ニテ右ハ戊辰年兵亂ノ際危急ノ
用途ヲ辨シ且士族ノ内自賣ヲ以テ開墾地買上
代其他諸滯リ金等別冊記載ノ如クナレ且旧秋
田縣於テ別ニ借用證文等ニ改メ交付セシ儀ニ
非ス然レ且軍蹟顯然ナレハ請フ其米金下付ヲ
得ント稟候セリ因テ書中ノ件ハ證書等下付

之レ無キニ由リ負債一般ノ處分上ニ閉シ採用
シ難ク尤開墾地買上ノ分ハ公債ニ立テ處分ス
ヘキニ付其旨告示ス可シ但藩廳引移或ハ官宅
ニ換用セシ建家買上代及ヒ捕七役料等ハ詮議
ノ次第モ之レアルニ由リ今一應旧官員取立シ
證據物ト成ス可キ書類取調更ニ上達スヘシト
指令セリ
七月三十一日

第四十三號

東京府ヨリ府下南本郷町長井林重調達金證書
本年二月中燒失セシニ由リ其際已ニ別紙及ヒ

青葉天

大藏

取調書ヲ以テ當府へ申報セシ旨願出ルニ付
査メシニ事實相違ナキニ由リ公債證書ハ下付
シテ然ル可キヤト稟問セリ因テ長井林重ヨリ
旧芝村鹿嶋兩藩へ調達金證書焼失ノ儀ハ事實
不得止ト雖モ鹿嶋藩ノ分ハ素ヨリ公債ニ立チ
難シ芝村藩ノ分ハ證券下付ス可シト回答セリ
七月

第四十四號

長崎縣ヨリ管内第二大區六小區八坂町商笠野
吉次部ヨリ辛未年十月中旧福江縣へ調達殘金

十貳百七拾五圓六錢貳釐五毛之ヲ旨申出ト
雖モ年月及返濟ノ約定且利足等調査ノ上證書
寫差出シ方遅延セシ儀調査中貴省官員巡回ニ
付審査已ニ了セリ然ルニ此回別紙ノ如ク同人
ハ幼少後見同姓熊吉ハ旅行中ニ付布告領兼ニ
ナル旨戸長奥印ヲ以テ申出ルニ由リ旧官員接
問セシニ旧縣負債ニ相違ナキ旨是亦別紙ヲ以
テ申立其情實黙止シ難キニ付出格ノ高裁ヲ請
フト別紙明細書歎願書等數通ヲ副へ稟候セリ
是ニ於テ書面ノ旨趣餘儀ナキ事情ニ付特別ノ

論議ヲ以テ負債一般ノ處分スヘキニ由リ其旨
中渡スヘシト指令セリ八月
二日

第四十五號

長崎縣ヨリ曰福江縣ハ嶋縣布製造税金ノ儀
兒嶋縣管内加勢田浦中村徳兵衛庚午亦ヨリ也
卯年ニ至リ十々年分金貳千四百圓ノ内千貳百
圓先納六々年目ヨリ年々貳百四十圓宛上納
約シ稼方免許ノ處業ニ藩債ニ書加ヘ未ニ
年税金ハ返濟ノ姿ニ取計ニ貴省官員派出ノ際
負債ニ組入ニ付右税金ハ年々上納スヘキ旨同

人へ下命ナリト雖モ右ハ固ヨリ別紙證書寫ノ
如ク税金上納ノ儀判然タル上ハ負債ヲ除キ税
金先納ニ取計ニ方至當ナラント免狀寫ヲ附シ
テ稟候セリ是ニ於テ書面金貳千四百圓借入ノ
旨舊福江縣ヨリ申牒アルニ由リ當省官員派出
ノ際接問セシニ魚税先納金ノ旨ニ付同縣負債
ノ内右件ハ取消ス可キニ由リ候スル所ノ如ク
取計ヲヘシト指令セリ八月
二日

第四十六號

秋田縣ヨリ曰龜田縣於テ東京芝山内宮山ヨリ

借入元金五百圓ノ内貳百圓小柳佐右衛門へ貸
下ケノ分外書ニスシ故ヲ以テ藩債ニ廻入サレ
ニ由リ此回貴省負債掛ヨリ照管ニ付回官員へ
問查セシニ回軍務扱ノ者全ク心得違ノ旨ヲ以
テ追加ヲ請フト別紙及借入證書寫ヲ副ヘテ申
牒セリ是ニ於テ借入元金引直ノ儀聽許スヘ
キニ就テハ小柳佐右衛門へ貸下ケ金本證書至
急差出スヘシト指令スリ
八月

第四十七號

三重縣ヨリ回長嶋縣負債ノ内東京府下鹿嶋清

尤衛門ヨリ調達金同縣藩債帳ニ登記ナシト雖
且回官員ヨリ申立ノ儀等事情懽察アリテ公債
ニ採用アラシトテ請フト別紙回官員申立及取
調書等ヲ副ヘテ稟候セリ因テ調達金漏ノ儀
ハ事實餘儀ナキニ付採用スヘキ旨達ス可シト
指令セリ
七月

第四十八號

岐阜縣ヨリ向キニ達シテリニ回郡上縣負債ノ
内相違古々ノ儀ニ付回官員ヲ取調ヘシニ最初
熊野三山名目ノ證書ニテ其後岷峨茶頂等ノ名



目ニ書改ノ安政宣年ニ至リ梅溪家ノ名目ニ改
ノシカ實ハ京都町人共ノ出金ケル由シ暗記セ
シ者アレトモ負債帳等ニハ記載ナキニ由リ即
今確答シ難シト上申セシ趣申牒セリ其新潟縣
ヨリ旧村上縣負債ノ内藩債帳帳等ニ別紙ノ
件ニ記載ナシトシテノ儀向キニ達旨ヲ受ルト雖
モ負債書類ハ戊辰兵馬ノ際悉ク紛乱セシヲ以
テ旧官員ヨリ送付セラルニ由リ更ニ調査シ難
シト申牒セリ是ニ於テ京都府ハ其府管民ヨリ
旧村上縣郡上縣ハ關スル調建金ノ儀調査スル

ニ真偽判然トナサレニ由リ猶實際取調詳悉具
狀スヘシト達旨セリ
八月
七日

第四十九號

司法省ヨリ京都府貫屬士族如藤定係外三名及
ト東京府貫屬士族荒川博濟右五人儀旧龜岡縣
在職中旧藩負債却ノ儀ニ付待罪書申呈ニ因
リ定係外三名ハ京都裁判所博濟ハ東京裁判所
於テ決放セル旨回報セリ
八月
七日

第五十號

東京府ヨリ府下麻布六本木町和田徳兵衛外二



人曰福江縣東京詰官員ト假規則ヲ定、同縣郎
ハ調達金千九百五拾五兩毫分銀五匁貳分五厘
下付ノ儀ニ付、貴省ハ申請セシメ、申出ルニ由
リ右書類ヲ進達シ處分ヲ請フト申候セリ是ニ
於テ和曰德兵衛外二人曰福江縣ハ調達金ノ儀
ハ出格ノ詮議ヲ以テ負債一般ノ處分ニ及フ可
キニ由リ其旨申渡ス可シト達旨セリ九月

第五十一號

開拓使ヨリ高知縣出張官員笹村直幸其他ノ者
當地滞在中當管内函館辨天町紳富右衛門ヨリ

同縣ハ掛リ賣掛出入訴訟ニテ別紙證書寫ノ如
ク勇拂部産物前金四千四百拾兩ノ内、廻リ物品
受取殘金及ヒ漁具損料トモ合計貳千六百四拾
三兩貳分永壹貫三百貳拾九文延滞アル旨ニ付
高知縣官員ハ説諭セシメ同縣曰所轄上ノ地ノ
分悉皆引渡シ後ニ付歸縣ノ後貴省ハ申請ノ上
トテハ確答シ難由ヲ以テ引拂ヒクルニ依リ
右ハ旧藩負債ノ處分アラハ至急右金額富右衛
門ハ下付ヲ得ント其證書寫及ヒ高知縣ヨリノ
來書ヲ副ヘテ商議セリ是ニ於テ右滞金ハ負債



一 般ノ處分不可キニ由リ元利ノ區別且入金等
調査ノ上金主押印ノ勘定書並出サレ且函館商
人山崎榮三郎ヨリ同縣へ調査金滞レル趣ニ付
同一調査ノ上證書寫へ勘定書ヲ副へ送致アル
ハシト回答セリ八月

第五十二號

和歌山縣ヨリ舊和歌山藩負債ノ内嘉永二年管
内市在ヨリ調査金ノ分銀札方ニ於テ右元利
下渡金ヲ以テ市在へ貸下ケ銀札ノ内へ返納ニ
見做シ年々差引勘定仕來リシ分帳簿紛乱セル

才以テ區役折元帳ニ就テ調査セシノ任課書ヲ
以テ本年二月中上申セリ然ルニ累ニ貴省官買
當縣へ派出ノ條金主共申立ト齟齬セシ儀此回
下問ノ旨ヲ領シ區役折ノ者ヲ窮問セシニ別紙
申印ノ如ク銀札方へ返納不可キ錢高五百貳
拾六貫三百八文ノ内三拾壹貫八百九拾五文第
六大區一小區ノ違算ニテ減シタル分差引錢四
百九拾四貫四百拾三文ナリトノ明細書ヲ以テ
申出且副區長補本又助踪漏ノ謝罪書別紙ニ印
如ク申出不都合ノ儀各々處置スヘキニ由リ

和歌山縣

大藏

上申高齣詰ノ分頁債減額ヲ請フト右兩書ヲ副
ハテ申牒セリ八月

第五十三號

新川縣ヨリ舊富山藩ニ於テ旧知東賞典米代金
ノ内貳千五百圓借入藩費ニ充テ其後稟候ヲ經
テ還償セシ儀ニ付向キニ下命ノ旨ヲ奉シテ旧
官員ヲ訊查セシニ確證ノ書類無ト雖且既ニ明
細書登記ノ如ク同年歳入歳出ノ計算上於テ軍
實判然タルニ由リ成規ノ如ク一般公債ノ處分
ヲ仰クト再請セリ是ニ於テ右ハ舊藩適宜協議

ノ上兌換ニ藩費ノ内ハ遣拂別ニ借用證書ナキ
ニ由リ今日ニ至リテハ償還セサル旨申渡スハ
シト指令セリ八月

第五十四號

福岡縣ヨリ旧福岡縣頁債ノ内議渡證文國崎三
平ヨリ松村半次郎ハ掛ル米壹斗六年五合渡シ
一通見玉惣平ヨリ山本清三郎ハ掛ル金札七百
貳拾四兩八合高米千三百依一通太田廣作ヨリ
加瀬米三郎ハ掛ル千四拾六兩四合三夕又千三
百九拾五兩貳合四夕合ニ通清水茂三郎ヨリ山

本與平へ掛ル一ヶ年ニ米拾依渡シ一通合計五
通ヲ進達セリ八月十

第五十五號

奈良縣ヨリ舊田原本縣掛屋取替金ハ同縣辛未
出納勘定ニ編入セルニ由リ至申年十一月申稟
候マシニ本年六月中右取替金下付アリシ上ハ
返リ證據物進達ス可シト達旨アリ因テ舊官員
ヲ推查セシニ別紙ノ如ク辛未年勘定高金四千
百六拾七兩壹分永貳拾五文餘租税金ノ内ヲ以
テ返償セリ右ハ前年ノ不足ハ後年租税金ヲ以

テ補償スル舊例且掛屋へ交付ノ際虧贏アルニ
別ニ證書受授セズ唯長官ノ檢印ヲ以テ證左ト
スル成規ノ旨上申スト其書面ヲ副ヘテ申據セ
リ因テ返リ證據物ナキ事態ナレハ辛未年九月
中勘定詰ノ金員へ長官檢印ヲ捺シタル帳簿ヲ
上進マシムヘシト指令セリ三月十

第五十六號

飾磨縣ヨリ舊明石縣管内村々辛未年作徳米三
千石買上代金壹萬貳千九拾五圓拾貳錢貳匁
ノ内金五千圓ハ同年租税金ノ内ヲ以テ舊縣於



下付シ残金七千九百九拾五圓拾貳錢貳厘下付
ノ儀至申年十月中申牒セシニ右金五千圓下付
スヘキニ付切手ヲ以テ租税ノ内へ上納シ残金
ハ負債一般ノ處分スヘキ旨指令ヲ蒙リ然ルニ
右五千圓ハ舊縣歳出ニ組入タルニ由リ外費金
ハ籠ノ渡方ナルニ付前書五千圓下付ノ儀ハ取
消ヲ請フト申請セリ 三月十日

第五十七號
名東縣ヨリ管内阿波國板野郡林崎村平民延藤
利平舊官田藩へ調達金ノ儀申出ルニ由リ北條

縣へ照管セシニ同藩負債書面ノ金千貳百七拾
壹圓相違ナキニ付乙ニ貴省へ申報セシ旨同縣
ヨリ回答アルニ由リ同藩官吏ノ證書及同縣ヨ
リノ書面ヲ附シ去月中稟候セシニ證書寫差出
方期限ニ後レ事情曖昧ニ付其手續ヲ審問シ更
ニ申牒スヘキ旨指令ニ付別テ審問セシニ同人
商業仕行中ニテ藩債調査ノ達旨ヲ領兼セナル
ヨリ遅延セシ旨別紙ノ如ク申出ニ由リ負債一
般ノ處分ヲ仰クト其證書ヲ附シテ稟候セリ是
ニ於テ候スル所實際ノ情狀瞭然ナラナルニ由

書牒

大藏省

リ管廳發表ノ公布ヲ戸長ヨリ同人等へ回達ノ
際同人旅行ノ信否一層審査ニ判然相違ナキニ
於テハ戸長之保證ヲ副ハ更ニ申牒スヘシト指
令セリ八月十日

第五十八號

秋田縣ヨリ舊岩崎縣負債ノ内當縣管内土崎港
下酒田町商金谷藤九衛門ヨリ借入金九百圓利
息百貳拾圓辛未年十二月晦日返償セシハ布令
ニ悖リ專斷ノ處分不都合ニ付其顛末詳查差出
スヘシトノ達旨ヲ蒙リ別々舊官員へ推究セシ

ニ別紙ノ如クセヨリ得ナル情實ナルニ由リ舊
知事家祿ノ内ヨリ支出セシ旨回官達印ヲ以テ
申牒スリ稟報セリ八月十日

第五十九號

千葉縣ヨリ舊菊門縣貫屬小湊家作料ハ證書下
付アリシ分ニ限り負債一般ノ處分ニ及フヘキ
ニ付名々捺印ノ證書寫ヲ差出スヘキ旨指令イ
ルニ由リ右證書寫一冊進達スト申牒セリ是ニ
於テ家作料證書寫ノ儀名々ノ金額舊縣中内拂
ノ有無判然ナラサルニ付今一應糾査ヲ遂ケ答



書ヲ上進セシムヘシ且ル塚昌言ハ脱印ニ付捺
印セシノ更ニ差出ス可シト指令セリ
八月十日

第六十號

愛知縣ヨリ舊西尾縣負債ノ内不都合察アルニ
付恐縮ノ餘リ舊官員川住行教外一人ヨリ講益
金ヲ以テ金七千五百圓餘返納ス可キ旨歎願シ
允許アリシニ此回右講益金貸附置キシニ取立
方途ニ難キニ由リ公裁ヲ仰ノ外餘儀ナシ故ニ
返納ノ期暫時猶豫ヲ申請スルニ付別紙猶豫願
書ヲ副テ處分ヲ請フト稟候セリ於是猶豫ノ儀

ハ甚不体裁ナレト特議ヲ以テ聽取スルニ由リ
至急返納ノ實效ヲ立ヘキ旨ヲ達ス可シト指令

セリ
八月十日

第六十一號

三重縣ヨリ旧津縣郷市撫育金訊問ノ儀ニ付當
縣官員及ヒ旧官員ノ内事實了解セシ者出頭ス
可キ趣達旨ニ付旧官員ノ内石井四郎兵衛ナル
者目今度會縣へ出仕セシニ付速ニ出京セシム
ヘキ旨同縣へ商議セシニ同人病氣ニ付三十日
ノ猶豫ヲ請フト回答アルニ由リ聽許ヲ得ント

書

裁

省

稟候セリ乃チ候スル所聴取スト指令セリ八月

第六十二號

新川縣ヨリ當縣管内射水郡新港所宮林彦九郎
外一人ヨリ舊富山藩へ朝廷金ノ儀業ニ藩債調
査ノ際證書寫等曰金澤縣へ差出スヘキニ誤リ曰
富山縣へ差出置竟ニ進達道脱ニ至リシ由ニ付
再應下命ノ旨ニ從ヒ同人及ヒ曰官員等訊查セ
シニ彦九郎於テハ舊官員願書落棠ノ故ヲ以テ
安堵シ曰官員於テハ彦九郎代人横山清平申立

書中ニ金高照會ノ為ノ書面差出置トノ意ニ任
セ徒ラニ領置メシニ就テハ彼是ノ齟齬不都合
ナリト雖モ其情實憫諒スヘキニ由リ洞察ノ上
至急指揮ヲ仰クト曰官員吉川權及横山清平ノ
答書ニ通ヲ副へ再候セリ是ニ於テ右ハ不都合
ナレト破格ノ會議ヲ以テ負債一般ノ處分スヘ
キニ由リ其旨申渡シ更ニ證書寫へ別紙雛形ノ
如ク勅定書ヲ副へ至急差出スヘシト其雛形ヲ
附シテ指令セリ八月十

第六十三號

書中ニ金高照會ノ為ノ書面差出置トノ意ニ任
セ徒ラニ領置メシニ就テハ彼是ノ齟齬不都合
ナリト雖モ其情實憫諒スヘキニ由リ洞察ノ上
至急指揮ヲ仰クト曰官員吉川權及横山清平ノ
答書ニ通ヲ副へ再候セリ是ニ於テ右ハ不都合
ナレト破格ノ會議ヲ以テ負債一般ノ處分スヘ
キニ由リ其旨申渡シ更ニ證書寫へ別紙雛形ノ
如ク勅定書ヲ副へ至急差出スヘシト其雛形ヲ
附シテ指令セリ八月十

新潟縣ヨリ旧新發田藩錢幣不通用ニ付古幣同
藩ニテ借上ケ他日正金ヲ以テ交換スヘキヲ約
定ニテ受取證書下付セシニ紛冗遺失ノ旨向キ
ニ申出アリ然ルニ此回發見ニ付採用アリ度ト
ノ出願ニ由リ指揮ヲ仰クト其本書及願書ヲ副
ヘテ稟候セリ是ニ於テ右ハ不都合ナレモ負債
一般ノ處分スヘキニ由リ證書寫及金主押印ノ
勘定書至急差出スヘシ但シ本證書ハ下付スト
指令セリ
八月十日

第六十四號

千葉縣ヨリ貫屬士族筒井忠順旧櫻井縣ハ調達
金ノ儀辛未十一月ノ公布ニ後レ上申セシ手續
ヲ申牒ス可シト向キニ達旨アルニ付調査セシ
ニ忠順ハ幼年ニテ實家東京府下大回忠高方ニ
寄留シ藩地留守居ノ者及ヒ親族共ハ公布ノ趣
通達漏ニテ延引セシ由シ申出ルニ付然ル可ク
處分ヲ請フト其手續書等ヲ副ヘテ申牒セリ乃
チ右事件不都合ナレモ餘議ナキ情實聽取スル
ニ由リ負債一般ノ處分ニ及フ可キ旨達ス可シ
ト指令セリ
八月十日

青葉

大藏省

第六十五號

長崎縣ヨリ舊嚴原藩負債ノ内當縣管内對馬國
 人民ヨリ調達金額ノ儀舊伊萬里縣於テ調査ノ
 儘進達セシ旨當縣へ所轄換ノ條中継アリ其後
 實省官員派出、從同地ハ遠隔孤島風波航シ難
 キヲ以テ右支廳へ達シ牒簿調査ヲ命セシニ多
 分證書等之レナク借入ノ原由及年月等判然ク
 ラズ然ルニ此回舊藩々負債償還ノ處分確定ノ
 旨第八十二号布告ヲ以テ領兼スト雖モ今一回
 調査セサレハ公債證書高上申シ難キニ由リ右

ノ處分暫時猶豫ヲ仰キ度尤派出官員歸縣セハ
 勿々上申スヘシト稟候セリ是ニ於テ候スル所
 ノ如ク心得出張官員歸縣セハ達ニ具狀スヘシ
 ト指令スリ 八月十日

第六十六號

小田縣ヨリ向ニ出來形精算帳ヲ以テ申白セシ
 所ノ舊度瀬高梁兩縣管内村々堤防道路修築入
 費庚午辛未兩年分金千三百拾七圓七拾六錢白
 キニ實省達旨ノ如ク一村限村役印勘定書取
 纏進呈ニ由リ右金員下付ヲ請フト別紙二冊ヲ



副へ稟候セリ是ニ於テ曩ニ指揮セシ如ク本年
第八十二号公布ニ照準シ負債一般ノ處分スヘ
キニ由リ其旨申渡スヘシト指令セリ八月二

第六十七號

滋賀縣ヨリ本年四月中管下高嶋淺井兩都村
ヨリ舊郡山藩へ調達金届落ノ儀ニ付旧郡山縣
官員取調詳細手續書ヲ以テ更ニ稟候スヘシト
指令アリシニ由リ旧郡山藩官員取調ニ付
調書ハ昨春奈良縣へ送付セシ旨上申セルニ付
同縣へ商議セシニ主任ノ者心得違ヲ以テ其儘

閱キシ趣ニテ茲回右ノ書類ヲ送致セシニ由リ
其書ヲ副ヘテ負債一般ノ處分ヲ請フト申牒セ
リ又奈良縣ヨリ近江國高嶋淺井兩都村ニ調達
金調帳舊郡山縣官員ヨリ旧犬上縣へ送致セシ
ニ當縣へ差出スヘキ旨指示アルヲ以テ更ニ當
縣へ送付セシニ主任ノ者粗漏ヨリ今日ノ不都
合ニ至レリ然レモ古書類ハ不日滋賀縣ヨリ送
達スヘキニ由リ負債ノ處分ヲ請フ且主任ノ官
員ハ適當ノ處置スヘシト其手續書ヲ副ヘテ申
牒セリ因テ滋賀縣へ高嶋都村ニ由リ旧郡山縣

へ調達金ノ儀ハ出格ノ詮議ヲ以テ申スル所ノ
如ク聽取スト指令シテ奈良縣へ右ノ届書滞ラセ
シ段不都合ニ付申スル所ノ如ク主任ノ者ヲ處
置スヘク且滋賀縣へハ右事件聽取スト指令セ
シニ付其意ヲ得ヘシト指令スリ 八月二
日

第六十八號

兵庫縣ヨリ舊半原縣分轄攝津國河邊郡村ノヨ
リ月賄トシテ調達金ノ内四百九拾九圓拾八錢
七厘五毫六分何等ノ指示ナシト雖トモ前同様
一般ノ處分タル可キヤト村ノヨリ進達セシ願

書及證書寫等ヲ副ヘテ申候セリ乃有馬郡村ニ
同一般ノ處分タル可シト指令セリ 八月二
十三日

第六十九號

大分縣ヨリ管内第八大区六小区隈所山田作兵
衛外二人ヨリ日久留米藩へ調達金相違ノ三件
此田同人共ヨリ別紙ノ如ク金五百圓ハ舊成産
方ヨリ返辦金千五百圓ハ嘉永年間已ニ同藩ヨ
リ差引済ニ付右二件ハ取消ヲ請フ金千貳百五
拾八圓三拾五錢四厘ノ件ハ右告後ノ還償ニ付
差返スヘキ旨派出官員ノ指揮ヲ受ケ同藩ヨリ



再三照管アルヲ以テ右全員返進セルニ由リ藩
債へ編入之レアリ度トノ旨申立ナレモ右ハ士
申年十月中貴省派出官員調査ノ儀ニ付當縣於
テハ處分シ難キニ由リ然ルヘリ處分ヲ請フト
申牒セリ是ニ於テ書面ノ旨趣向キニ實地検査
ノ際事實ヲ白セス方今吐露セシハ不都合ナレ
モ事實相違ナキ上ハ譴責ニ及ハサルニ由リ其
旨申渡スヘシト指令セリ 八月二
日

第七十號

山口縣ヨリ當縣士族林友衛歎願別紙ノ如シト

其略ニ曩ニ舊嚴原藩ヨリ舊山口藩へ依頼ノ未
某長官ノ命ヲ受ケ盡力鑄造ノ施條宛代金ノ儀
此回負債一般ノ處分アルヘシトノ達旨ヲ蒙リ
右ハ向キニ鑄造ノ際代價ノ内前借ノ儀使員ノ
囑托ニ由リテ金不圓山口縣地ニ於テ代借シ奉
去年二月ヲ期トシ證書領受セシニ其期ニ至リ
返償ナキニ付止ヲ得ス舊藩長官及ヒ會計掛等
へ熟議ヲ遂ケ暫時取替拂ニ決セシニ藩縣廢置
ニ際シ其儀能ハサル已ナラス使員於テモ歸藩
アリテ鑄造宛ハ其儘差置職方ヨリハ代價下付

大藏省

ノ奴役ヲ受ケ切迫絶窮ノ上負債一般ノ處分ニ
テハ下方必至難澁ニ付出格ノ仁恤ヲ以テ今一
應高議ヲ盡サレ代價及ヒ利息金一時立替ヲ賜
ルカ又ハ舊藏原藩ヨリ還付ナルカ特裁ヲ得度
若シ尤ナキトキハ金主職方ノ者負債ノ處分甘
心スヘキ説諭ヲ加ヘラレ度トノ願書ヲ具シ且
右ノ情實ヲ察スルニ餘儀ナキ次第ニ付特別ノ
譯ヲ以テ哀願ノ如ク詮議ヲ請フト申牒セリ是
ニ於テ負債ノ處分詮議替兼願之旨聽取ニ難キ
ニ由リ今後金主及職方等皆情申出ルモ其縣於

テ理解ヲ盡スヘシト指令セリ 八月二
十日

第七十一號

北條縣ヨリ舊鶴田縣管屬管下各村ハ分賦ノ際
邸宅建築入費拂不足ノ分金三万四千九百九圓三
拾貳錢六厘下付ノ儀辛未年以來再應上申セシ
ニ方ハ負債一般ノ處分ナルヘシトノ指令ヲ蒙
リ然ルニ本年三月三日太政官ヨリ舊藩債裁拾
五圓未滿ハ一割利引ヲ以テ一時償還ストノ布
告ヲ領セルニ就テハ業ニ一村限ノ合算ヲ以テ
是狀セシナレ且其實ハ地價竹木瓦代價及備算

青果天

大藏

等ニシテ毎戸ニ分算セハ金貳拾五圓未滿ナル
ニ由リ一時下付ノ儀村々出願ノ旨稟候セシニ
毎戸分賦ニ引直シ下付ノ儀ハ聽許シ難シ一村
限ノ金員ヲ以テ處分スヘシトノ指令ヲ領セリ
然ルニ右毎戸貳拾五圓未滿ハ割利引ノ儀ハ全
ク見込違ニ付取消アリ度且去月中上申セシ如
ク從來官費ヲ細民於テ一時立替セシ儀ニテ當
今ニ至リ必至困迫ノ旨申出ニ付尚叩問セシニ
餘儀ナキ情實寔ニ愍然ニ堪ス若シ右金額減少
ニハ一同相續方ハ勿論公租取立方等ニモ關涉

シ此上ハ更ニ説諭ノ道ナキニ由リ特別ノ會議
ヲ以テ至急下付ヲ請フト曰百姓惣代正副ヲ長
ノ歎願書及曰官員證書等ヲ副へ申牒セリ是ニ
於テ申請ノ旨趣佐縣ノ比例ニ關シ聽許シ難キ
ニ由リ曩ニ指揮セシ如ク領養スヘシト指令セ
リ八月二
第七十二號
京都府ヨリ府下驚尾町福永市右衛門田川越
藩へ調達金向キニ取調出願スヘキノ所本人佐
出中ニテ延引セシカ右金額五百六拾七兩貳分

書

大藏省

下付ノ處分ヲ請フト嘆願セルニ付調査セシニ
出願ノ期限ヲ失スト雖モ事實ニ疑フ可キ廉ナ
キニ付處分ヲ得ント右證書寫等ヲ副ヘテ申牒
セリ是ニ於テ福本布郎右衛門曰川越藩へ調達
金ハ本人歸國ノ上達ニ出願スヘキニ今日迄還
延シ肯趣悻度スルニ由リ聴取シ難シト達肯セ

リ八月二
十八日

第七十三號

三瀨縣へ舊杵川縣下金主共舊縣へ調達金ノ儀
ニ付去申十月中當省官員派出調査セシニ猶不

分明ノ廉アルニ付調方更ニ其縣へ委任セルニ
由リ右調達ノ創年及銀雜穀相場又ハ元入利拂
ノ有無端金ノ子細等篤ト調査至急申牒スヘシ
但葉ニ進達スシ證書寫及金主答書勘定書等下
付スルニ由リ調達ノ上差出スヘシト達肯セリ

八月二
十八日

第七十四號

廣嶋縣ヨリ管内第一大區一小區南町船越八百
太佛田藩へ調達金差引殘金九千九百七拾貳圓
九拾六錢八厘藩債一般處分ノ際確證差出スヘ

廣嶋縣

大藏省

キトノ指揮ヲ領シテ申年五月中日藩引合根帳
及同人へ下付ノ受取帳取纏ノ上申ノ條則チ聽
許アリシニ此回公債證書管内一般下付ノ處同
人へ掛ル分ハホク下付ナキヲ以テ別紙證書寫
等同人ヨリ具狀ニ由リ至急下付ナリ度ト稟候
セリ乃同人書類精算調査中ニ付不日處命スヘ
シト指令セリ 八月二
十九日

第七十五號

滋賀縣ヨリ管下神崎郡八布村外六ヶ村日藩債
證書賣買セシム別紙ノ如ク申請スト雖モ右

ハ本年一月公布アリシ新高公債證書發行條例
ニハ讓渡質入賣買勝手タル可キ旨記載アレヒ
其以前ノ旧證書賣買ハ不都合タルヘシト思量
スレモ一應稟省ノ指揮ヲ請フト其別紙ヲ副ヘ
テ稟候セリ乃チ新日公債證書ト引換以前ノ旧
證書賣買ハ嚴禁タル可シト指令セリ 八月二
日

第七十六號

滋賀縣ヨリ向キニ日朝日山縣管下淺井郡中野
村大村勘七外四人ヨリ日彦根藩へ調達金届落
ノ儀ニ付日朝日山縣官員訊問セシニ金三共



リハ届ケアリシヲ主任ノ者粗漏ニテ調落ニナ
リシ趣申立ルニ由リ負債一般ノ採用ヲ請フト
共書類ヲ添テ申牒セシニ曰官員ノ申立曖昧ナ
ルニ由リ更ニ主任ノ者取札シ發令受付ノ月日
調査ノ次第等詳細申牒ス可シト指令アリシヲ
以テ重テ曰官員主任ノ石井直方佐藤久恒等ヲ
調査セシニ辛未十二月三日管内へ布達シテ申
二月九日東京出張所へ送致シテ進達セリ右和
書ハ悉皆取纏引渡書目第三十一号袋入ニテ犬
上縣へ引渡セリ受付月日ハ取調書表紙へ記載

セリト難モ曰縣引渡繁劇ノ際ニ付確定ノ儀言
上シ難キニ由リ右和書取調ヲ請フト上申セリ
ヲ以テ然ルヘク處分ヲ得ント其上申年續書ニ
冊ヲ副ヘテ再牒セリ因テ曰官員ノ申立確證ナ
キニ由リ曰犬上縣へ引渡書目第三十一号袋入
和書ヲ調査シ現存セヌシハ期限ヲ失ムル者ト
ナシ採用シ難シ若シ證據イラハ猶詮議ニ及ハ
キニ付證書全文寫勒定書等悉皆取調更ニ申牒
スヘシト指令セリ
八月二
十九日

第七十七號

大蔵省

大蔵省

大蔵省

岡山縣ヨリ此回新舊公債證書下付アリシニ別
帳ノ各名裏ニ證書寫差出サレヨリ去秋貴省官
員派出ノ際ニ亦金主手前調査遺漏ニ付公債證
書下付次レ無シ然ルニ各名一ヨリ證書寫差
出ルシ旨申立右ニ新舊縣廢置事務受授ノ際紛
冗錯雜ヨリ遺漏ルシ儀ニ付更ニ證書寫及勘定
書進達スルニ由リ裏ニ差出ルシ落債帳同根帳
ニ照會シ公債證書下付ヲ得ント稟請セリ是ニ
於テ稟請ノ旨確證次レナキ稟狀ナル可キニ付
餘議ニ及ビ難シト指令セリ
八月二日

第七十八號

岡山縣ヨリ去申七月中舊岡山落債調查申帳
ニシ内武田利總平外三人ヨリ調達金弘化已後
ナルヲ天保間創年ノ旨記載ニテ此回公債證書
下付ニ付再度調査セシニ右ハ全ク誤寫ナルニ
由リ落債帳上訂正ヲ得ント別紙明細書ヲ副ニ
申請セリ是ニ於テ書面四人ヨリ調達金創年誤
寫ノ儀不都合ナレ且根帳ニ頭證アルニ由リ出
格ノ宥恕ヲ以テ聽許スト指令セリ
八月二日

第七十九號

青森縣

大藏省

司法省へ滋賀縣管内神崎郡坂部村森野庄兵衛
 外一人舊敷原藩へ調達金ノ儀結局公債ニ組入
 ルヘキヲ縣官ヨリ答書ニ調達ノ人名不分明ニ
 付其實際ノ手續ヲ領知セント既ニ再應商議セ
 ルニ縣官ノ回報ヲ得ハ報知スヘシトノ旨ナレ
 且爾後如何ノ運ニナルヤ當省へ前條ノ始末
 現今申報之レ有ルト雖モ貴省ノ報知ヲ得ナレ
 ハ都テ處分シ難キニ因リ至急貴報アリ度ト商
 議スリ
 八月二日
 第九日
 第八十號

石川縣ヨリ曩ニ貴省官員派出舊大聖寺藩債調
 査ノ際貸主等佗行中ニテ検査未済ノ處此四歸
 村ニシニ由リ別紙ノ如ク濱中八三郎外七人ヨ
 リ調達金證書拾四件總計金壹萬七千三百圓ノ
 目録ヲ附シ申出タリト稟報セリ
 八月三日

第八十一號

熊谷縣ヨリ武蔵國秩父男余兩郡村ニ舊忍縣へ
 辛未年貢金ノ内三千圓先納ノ儀曰入間縣へ渡
 ヲルニ付同縣ヨリ右取計方稟候中同縣廢セリ
 レ右事件ヲ當縣へ指令アリ右ハ辛未九月二十



日布達ノ旨趣ニ悖戻セルヲ以テ當該ノ曰官員
 通律處分シ償却殘金ハ調達金ノ定規ニ從ヒ三
 十日ヲ限リ證文寫差出ヘキニ其儼ナリ期限後
 ニ付採用ナラス就テハ引當未納ノ分ハ至急處
 置アルヘシ但シ曰縣ヨリ返償セル金額元利合
 金貳千貳百三拾壹圓五錢三厘ハ別途下付ス可
 キニ付幸未租稅ノ内へ更ニ上納スヘシト徒旨
 ニ付曰官員取糺メシニ曰少屬櫻井段次郎全ク
 九月二十日ノ布達ヲ誤解シ右ハ實稅先納金ニ
 テ藩債ト區別スレアリ縣廳ヨリ書上ルニ付改

テ金主ヨリ證書等ヲ以テ上申ニハ及ハスト專
 斷ヲ以テ金主へ申シ聞ケシニ付同人ヨリ待罪
 旨ヲ差出セル上ハ通律ニ處シ償却殘金ハ一般
 藩債ノ處分スレ有リ度ト曰官員并金主ヨリ差
 出セル書類ヲ附シテ申請スリ因テ曰忍縣ニ於
 テ秩父男余兩郡村ルニ先納メシヲシ調達金
 三千圓ノ證書寫届洩ニナリタル情實餘儼ナキ
 ニ付特別ノ詮議ヲ以テ曩ニ專斷償却セシ殘金
 千圓ハ實債一般ノ處分スヘキニ付證書寫及ヒ
 勘定書共更ニ差出サレ至急送致シ櫻井段次郎



處罰ノ儀ハ裁判所ニ委託シ結末申報スヘシト
指令スリ九月
二日

第八十二號

石川縣ヨリ曰金澤藩管下為替會社兌換金ノ儀
ニ付向キニ申陳セシニ同藩ヨリ會社ハ貸下金
ト差懸ヘシト指令アルニ由リ右會社願書中為
替方ト為替會社ト官民混同セルヲ以テ願意實
做メスト再々會社ヨリ別紙ノ如ク官民ノ區分
ヲ立テ數願セルニ由リ曰藩會計掛官員ヲ紀査
スシニ全ク藩債ニ立ヘキ筋ニ非ス殊ニ證書等

下付セサルニ付藩債帳ニモ登記セト云々答書
及會社再願手續キ書等ヲ副ヘテ再候セリ是ニ
於テ在京ノ旧官員及會社ノ者ヲ呼出シ訊查ス
シニ為替方ハ曰藩於テ設立シ為替會社ハ曰藩
用建大阪府下町人共ノ取設ケタルヲ以テ其實
ハ公私ノ區分アリト更モ一藩中ノ事務ナルヲ
以テ會社ヨリ為替方ニ兌換セシハ全ク一時ノ
約定ニ付別ニ證書授與セサル旨申立テ且全員
ハ元公私區分アレトモ目今ハ兩般同一ナルヲ
以テ此上幾回懇願ストモ採用スヘキ條理ナキ



ニ仍リ業ニ指令セシ如ク達者ニ然ルヘシト決
議シ乃曰金澤藩管下為舊會社ヨリ宛換金ノ儀
官民ノ別ヲ辨白再願スト雖ニ別段證書下ケ渡
シナキニ付今日ニ至リ總全員撤却申付ヘキナ
レ凡曰前ノ體裁事情ヲ斟酌シ諸商社ハ貸付金
ヲ以テ差繼ノ積リ格別ノ會議ヲ以テ指揮及ヒ
シニ付其意ヲ得ヘキ旨ヲ達スヘシ但大坂神戶
等ニ於テ渡切ヲ受ケシ商家代價ニ當ル全員先
般屆落ノ趣ヲ以テ現今申出ル始末不都合ノ至
リナレトモ格別ノ宥恕ヲ以テ聽取スト指令セ

北月
四日

第八十三號

千葉縣ヨリ曰櫻井縣士族眞平一部外六人及ヒ
管下高柙村吾妻村三名ノ者ヨリ曰諸藩へ調達
金證書寫屆落ノ儀ニ付向キニ曰官員主務ノ者
訊問セシニ右證書寫二拾冊辛未十二月十日迄
ニ曰縣會計掛渡邊登平受付外ニ高柙村吾妻村
三名ノ分二冊ハ同月二十二日同人受付合テ二
十二冊ノ内十三冊ハ同月中曰木更津縣へ交付
シ士族七名ノ口七冊及ヒ高柙村等ノ二冊ヲ遺

青野

大藏省

脱ニ恐懼ニ堪ヘサル段申出ルニ付其書類ヲ添
 テ申牒スシニ届漏ノ儀ハ詮議ノ次第アルニ付
 主務ノ者受付ノ際證跡及ヒ現場ノ手續書等並
 出サズ且確實調査ノ上更ニ申牒ス可ク但證文
 ハ下底スニ付宜テ中立ノ節右寫ヲ差出スヘシ
 ト指令アリシニ由リ重テ乱査スシニ曰官員渡
 邊登平取扱中受付シハ相違ナシト雖モ右證書
 寫ハ何レハ紛失スシヤ搜索スレモ見ヘズ扣書
 ノミ見當リシニ付曰官員倉橋外近藤門造渡邊
 登平ノ進退付書ト合セテ進達スト申牒セリ是

ニ於テ證書寫差出シテ方遷延セシハ全ク金主ノ
 罪ニテラナレハ眞債ニ處分シ渡邊登平處罰ハ
 裁判所ヘ付托シ外二人ハ進退付ニ及ハスト指
 令セリ
 四日

第八十四號

三瀧縣ヨリ曰柳川縣眞債ノ儀ニ付予申十月中
 貴省官員派出調査アリシニ稍不分明ノ虞アル
 ヲ以テ更ニ調方當縣ヘ委任ノ趣達肯アレモ一
 且貴省官員直調ヘノ末ハ當縣於テ再調セハ自
 然不服ノ者モアルヘク且向キノ申牒ニ突合サ



、レハ叶ヒ難キ事情ニ立至リ遂ニ貴省ヨリ派
出アルヘキ次第ニ至ラハ徒ニ時日ヲ費シ不都
合ニ付道回貴省ヨリ派出調査アルコトヲ請フ
ト申牒セリ因テ申スル所餘議ナク相聞フルニ
付更ニ當省九等出仕日比野輝寛外一人不日出
張及フヘク奈此旨領知スヘシト達旨セリ九月

第八十五號

滋賀縣ヨリ曰官川藩仕法講利益金ノ儀ニ付向
キニ當縣管下飯田郡官川村垣見健吾外壹名貴
省負債掛官員出張調査ノ際證書原紙持參セシ

ルニ因リ後日縣廳ヲ經テ進達スヘシト指揮フ
ルヲ以テ則テ證書八通ヲ上呈スト申牒セリ九
月

第八十六號

佐賀縣ヨリ叢原藩へ田代住居士族及平民調達
金ノ儀ニ付去ルテ申年十一月中上申セシニ粘
田小十郎外二十六名證書寫差出方公布ノ旨ニ
依リ期限後レタルニ由リ採用ヲ賜ハラサル旨
且負債掛リ官員出張検査ノ際ニ當リ小十郎以
下申立方不埒ニ付當縣於テ處分スヘシトノ叢



新証状

大藏省

昔々蒙リ尚再願ニ及フハ恐懼ニ堪ヘナレ其古
 證書差出方遷延セシハ全ク左書ニ述ル所ノ如
 ク取扱ヒ官員ノ疎漏ヨリ遂ニ此ニ至レル事情
 ニテ實ニ惘然ニ付採用ヲ請フト其遷延メシ始
 末ヲ聞具シテ再願セリ因テ小十郎外二十六名
 證書差出方ノ儀ニ付向キニ上申セラルル如ク辛未
 十二月三十日ヲ限ルヘキ旨田代表ハ察令ノ未
 十申三月ニ至リ神崎出張所ニ差出シ期ヲ愆ル
 トノ旨ニ付採用セサル儀ハ兼テ指令ノ如ニテ
 且右二十七名ノ外高橋莊右衛門及ヒ田代七族

村ノ平民ヨリ調達金口ルニ右同一ナレ其内
 別紙甲号ノ分ハ詮議ノ筋メレ有ルニ付猶一應事
 實取札手續書及ヒ取扱ヒ官員ノ署名書等至急
 上呈スヘシト其金主ノ名簿ハ甲号ヲ掛ケテ指
 令セリ九月
 第七日

第八十七號

大政府ヨリ公債證券此回各金主ニ授附スヘキ
 分及貳拾五圓以下現金渡ノ分明治五年同六年
 六月迄ノ利足金及旧債元金ノ分トモ交付ナレ
 ニ付負債取調帳尚亦検査スシニ記載スル所ノ

青標天

大藏省

文面往々金額ト相符セス且五種ノ證券簿冊ノ
割合現在交付ノ金額ト亦比對セズ現金渡ノ分
不足ナルニ付右ノ候スル為ノ係リ官員一若
上京ニシハルニ由リ至急指揮ヲ仰クト申牒セ
リ九月
七日

第八十八號

大阪府ヨリ此回下付アリシ公債證書ノ内月日
等明細帳ト矛盾アリト雖モ金算ニ關セサル分
ハ下付シ又滞利金高割等ニ關シ或ハ新借利子
ノ増減ニ關スル類些細ノ過渡ニナルトモ證書

明瞭ナルハ一切渡シ置キ進テ再査セシ如ク過
金ハ速ニ返納スヘキノ證書ヲ收シ支銷畢テ詳
細取調書送致スヘシト申牒セリ九月
七日

第八十九號

開拓使ヨリ向ニ各地方管下人民舊諸藩ハ金穀
調達ノ者證書寫及勘定書等其管應於テ取懸差
出方ノ儀ニ付公布ノ旨管管内ハ布告ノ有無諮
問ヲ蒙リ乃北海道ヲ審驗セシニ其儀ナキ旨ニ
テ元來布告類ハ當使ヨリ都テ布達セシ例ナル
ニ前件ノ公布ハ如何シテ行達タルハ當所簿冊



ニエ書載上シト回答アリ因テ速ニ布告ノ上書
類取纏来ル十月三十日ヲ限リ送致アルハシ且
右行違ノ事情判然回答ヲ得クシト公布爲テ副
ヘテ商議セリ八月ニ是ニ於テ又同使ヨリ右布
告至急管内ヘ布達スヘキ旨申遣ハセリ且向ニ
布達遺漏ノ儀ハ既ニ年月ヲ經ルニ由リ今ニ至
リ調査ノ方モナシ若シヤ布告ノ際管使ノ分遺
脱スシ儀ニテハナキバト回答セリ九月

第九十號

京都府ヘ其府下人民ヨリ曰叢原縣調遣金ノ内

藩債根帳ニ照會ナラサル款項長崎縣ヲ經テ曰
官員ヘ尋問セシニ別紙武末秀作答書中ニ記載
スル如ク年數モ隔タリ當初該官ノ人員モ不分
明ニテ此以從幾度取糺ストモ到底明瞭ニナラ
サルニ由リ現存ノ證書并四簿冊ヲ審檢シ實際
ニ就テ其景況ヲ推究シ且曰藩士掌テ會計ニ關
スシ者別所使次郎等カ如キ其他現今府下在任
右事件ヲ知會セル者ニ詳悉尋問ノ上具狀スヘ
シト別紙及取調書ヲ副ヘテ達旨セリ九月

第九十一號

考課狀
大藏省

大正

大正

埼玉縣ヨリ當縣管内埼玉郡行田町福嶋傳三部
ヨリ曰忍縣へ調達金壹萬五千圓余ノ分負債一
般ノ措置ヲ以テ償還セラル、ニ付同縣ヨリ下
付トシ引當米券ハ早々引上可シトノ旨向キニ
指令ヲ領スシニ由リ別々米券壹萬六千五百匁
徴收上納ス且同人ヨリ差入米券借用證書ハ下
ケ戻スシト申牒スリ九月十

第九十二號

滋賀縣ヨリ管内近江國犬上郡高宮村不破跡三
郎外二人曰彦根縣へ稟米年形引當ヲ以テ金壹

萬貳千貳百五拾兩辛未壬申年中調達スシニ付
返償方曰同縣へ再三申出ルト雖モ下金ナキヲ
以テ貴省負債掛出張先へ申牒セシニ廢藩立縣
ノ上ハ心得方モ有ルヘキニ其儀ナリ調達セシ
ハ不都合ノ趣説破ヲ蒙リ恐縮ノ至リナレモ
實困迫ニ堪ヘスト猶又當縣へ歎願セリ右ハ曰
同藩紙幣質入レ調達金ノ向ハ己ニ流質ニ處セ
ラレシヲ以テ暗ニ比較シ苦情申立ルニ由リ當
縣限リ指揮シ難キヲ以テ如何處置スヘキヤト
證書寫及年續書類ヲ副テ稟候セリ是ニ於テ曰

大正

大正

彦根縣へ幸て貢納米券引當調達金下り成願ノ
儀紙幣質入トハ素ヨリ區別モ之レ有リ總テ米
券等渡置シ分ハ一般ノ處分タルハキ定規ニ付
藩縣ノ差別ニ不拘願ノ趣聽取シカリキ旨ヲ達
スヘシト指令セリ九月十

第九十三號

滋賀縣ヨリ向キニ曰大湊藩管轄近江國高嶋郡
大湊町外二十三ヶ村ヨリ調達金ノ儀ニ付書類
ヲ添テ申牒スシニ貴省留記ニ書載セナルニ付
進達ノ月日及ヒ銘書取札申出スヘク且金主共

差出セシ書丹中明瞭ナラサル廉ハ借覽ヲ以テ
標記セルニ付夫リ訊查ノ上答書ヲ添へ猶進達
スヘキ旨達旨アルニ由リ此回同藩負債帳及ヒ
村方願書共曰大津縣ヨリ交付ノ分直ニ申三
月進達セシ旨曰大上縣官員申立銘書ノ儀ハ藩
債高取調帳ト記載有リシ旨ヲ以テ負債一般ノ
處分アラシムテ請フト負債帳其他村方答書ヲ
副ヘテ申牒セリ是ニ於テ曰大津藩管下村々ノ
者共ヨリノ調達金格別ノ僉議ヲ以テ負債一般
ノ處分ニ及フヘキ奈其意ヲ得ヘシト指令セリ



滋賀縣ヨリ曰宮津縣分轄近江國村ノ辛未年租

稅先納金九百五十七圓ハ既ニ豊岡縣於テ調査

ノ上交換納方取計シニ由リ證書ハ右村ヨリ

差出サセ當縣ヨリ直ニ進達アリタキ旨同縣ノ

商議ニ依リ村ニ調査セシニ前頓ノ内八圓ハ

證書アリ其他利子ヲ除キ金三百貳拾五圓ハ他

ノ金員ニ籠レルニ依リ別ニ證書ナリ請取帳ニ

付込ノ趣系テ同縣ハ申立テ置ケル由金主ヨリ

申出ケルニ付其旨向キニ申牒セシニ證書取揃

ハサレハ不都合ノ趣ヲ以テ貴省ヨリ同縣へ達

旨アルニ由リ同縣ヨリ右ハ曰宮津縣守山出張

所費用トシテ辻岩九郎其外ノ者共ニ先納申付

辛未租稅ノ内ヲ以テ下ケ戻ノ約定シタルニ依

リ別ニ證書ヲ下付セズ請取ノ都度先方請取帳

ニ記載セシ旨申立シ由ヲ以テ同縣ヨリ通牒ア

リト右請取帳面ヲ副テ申牒セリ豊岡縣ヨリハ

請取帳進達方ノ儀滋賀縣へ付托セシ旨ヲ申牒

セリ九月十日

大藏省



第九十五號

磐前縣ヨリ曰中村縣於テ古川市兵衛ヨリ借入
買米代金ノ内ヲ以テ海陸軍資金壹萬五百圓一
時兌換上納スシ儀及古引當殘米代金等處分ノ
儀ニ付曩ニ稟候セシニ前額金員ハ負債一般ノ
處分ニ處セラル、ニ付追加帳差出ヘシ殘米拂
代金四千貳百七拾七圓餘ハ別途上納スヘキ旨
指令アレ尺寢回別紙、如ク小幡房清外一名ヨ
リ殘米拂代金ハ古川市兵衛へ返辨引當金額ノ
内ニ付同人へ返却シ差引殘金六千貳百貳拾貳

圓餘ハ指令ノ如ク追加ヲ請フト上申セルニ由
リ其別紙上申書ヲ副テ稟候セリ因テ古川市兵
衛へ返償金ノ儀ニ付申請ノ趣聽許シカクシ最
前指圖ノ如ク心得ヘシト指令セリ
九月十日

第九十六號

和歌山縣ヨリ向キニ舊和歌山縣松坂羽書方納
拂ノ儀ニ付稟候セシニ差引勘定帳尻不足金壹
萬三千四拾三圓四拾九錢壹厘下付スヘキニ付
明細内詳帳ヲ進呈スヘシト指令アルニ由リ乃
テ別冊内詳帳ヲ進達セリ
九月十日



第九十七號

滋賀縣ヨリ管内近江國野洲郡守山村鶴飼儀左
 衛門外二名ヨリ曰官津藩へ調達金ノ儀ニ付同
 藩管應豊岡縣へ出願セシトテ懇願セシニ由リ
 副官ヲ以テ送致セシニ同藩曰官員答書及融
 通謀書類二冊ヲ添テ回答フレトモ儀左衛門外
 二名ヨリハ何等モ申出ス當節ニ至リ願書差出
 スシニ付期限後レノ段呵責及ヒシニ向キニ豊
 岡縣へ申立共際同縣ヨリ返書當縣へ送致セ
 ルヲ以テ處分旨ラント心得差和居リシニ何等

モ指揮ナキニ依リ猶懇願セシ由前後不都合ノ
 次第ナレトモ同藩曰官員申牒ノ趣ニテハ事實
 藩債ニ相違ナキニ由リ各藩負債ニ準シ處分ア
 リタシト書類三冊ヲ副テ稟候セリ因テ其願未
 ヲ調査セシニ曰藩於テ負債支消ノ法ヲ設ケ融
 通謀ヲ企ツル際藩債證書納切ノ説諭アリシニ
 他ハ兼伏還納スレトモ此三人於テハ心服セズ
 證書ヲ固執シ其實還納ノ機會ヲ誤ケル者ニテ
 曰官員於テモ右證文ト視做スシハ一理ナキニ
 非ス然リト至ヒ今日評論スレニ至テハ辛未年



、公布ニ對シ期限後レタルニ由リ乃チ竊飼倣
去衙門外ニ名ヨリ合計五千圓調達金ノ儀ニ付
出願スレド辛未十一月公布發令後調達金證書
寫三十日間ニ差出スヘキノ成規ニ對シ期限ヲ
誤リタル筋ニ付採用ナリ難キ奈此旨申渡スヘ
シト指令スリ九月十日

第九十八號

和歌山縣ヨリ曰和歌山藩種貸米納切ノ唱ヲ以
テ出金ノ分第一大区五小区ヨリ第七大区九小
区迄合錢六拾六萬六千百四拾壹貫五百貳拾貳

文更ニ負債ニ立ツ可キ旨許可ニ付取調帳及ヒ
割印帳ヲ添テ進達セリ因テ度會三重兩縣ヘ曰
和歌山縣管下牟婁下郡松坂田丸白子等ノ村ハ
ヨリ種貸元米納切ノ唱ヲ以テ同縣ヘ出金ノ分和
歌山縣稟候ニ因テ負債一般ノ處分ニ及フ可キ
旨指令スシニ由リ其縣於テモ同様心得ヘリ且
村々本人押印ノ金具書差出シ方至急取計ヲ可
シト達旨セリ九月十日

第九十九號

愛知縣ヨリ當縣管下三河國額田郡本宿村鈴木



市三郎外二人ヨリ舊岡崎西大平兩藩へ謀金掛
込金百廿圓アリシヲ負債一般ノ處分アリシ
ヲ申奉申奉正月中日林岡縣亦仮支廳へ出願セシ
ニ採用ナラズ其後再々舊額田縣へ出願セシニ
前同縣ヨリ引送ナキニ付是亦採用ナラザル旨
達旨アリ然ルニ今般公布第八十二號負債處分
中舊藩ニ謀金掛込云々アリ因テ公債ニ加ヘテ
レ度ト別紙手續書ヲ添テ出願スルニ付其筋取
組セシニ實情ナルニ付採用ヲ請フト別紙二冊
ヲ添テ稟候セリ是ニ於テ候スル所餘儀ナキ次

第十レ氏舊兩藩ノ債帳ニ記載セズ殊ニ證書面
公私ノ別及ヒ藩用ニ掛込ノ事情等不明瞭ナル
ニ由リ詳細取調更ニ候トヘシト指令セリ九月十日

第百號

新川縣ヨリ管内越中國射水郡新湊町宮林彦九
郎外一名曰富山藩へ調達金證書届漏ノ儀向キ
ニ申候セシニ破格ノ詮議ヲ以テ採用アルニ由
リ勅定書雜形ニ照準シ進達スヘシト指令アル
ニ由リ別紙彦九郎外一名ヨリノ勅定調書ヲ進



未詳

九藏

述之り九月二

第一百號

奈良縣より曰小泉縣積年、因文藩政之立難キ
 休ニテ去ル乙巳年士族率別紙、如リ減祿シ断
 然曰弊ヲ除キ諸事省略ノ方法ヲ設ルト虽モ多
 分ノ藩債利金等ニテ經費ノ不足ヲ補フニ術ナ
 リ止ヲ得ズ今年ノ歳入ヲ前年ニ引揚遣拂來リ
 シハ累年ノ故棄ナルヨリ昨辛未ノ收納金殺過
 半仕拂シニ付現今曰知事并貫屬士族、給スル
 家祿ノ内別紙ノ如ク不足未合計不貳百拾壹石

七斗六年九月令下付アリ度且右之内曰知事并東
 京府へ移貫ノ士族ハ同府ヨリ祿ヲ給シ當縣任
 居ノ士族亦ハ當地置米金ノ内ヲ以テ臨時兌換
 假渡シセリト別紙曰官員領書祿高取調書歳入
 出取調書等ヲ副ヘテ申請セリ因テ従前會計ノ
 積弊其勢今日ニ至リ經費多分ノ不足ヲ生シ甚
 タ不都合ナレト既往ノ儀ナルニ付格別ノ宥恕
 ヲ以テ請ハル所聽取セシニ由リ壬申年渡リ家
 祿ノ内不足未額證書ヲ以テ租稅察へ上納ノ未
 受取方申出スヘシ但上納以前右證書負債係ノ

書架天

大歳

首

検査ヲ得ヘシ且別紙附箋ノ如ク様高相違ノ廉
 ハ詳細取札ニ至急稟報ス可シ曰知事及ヒ東京
 實屬士族家祿渡方ノ儀ハ是迄ノ如ク其縣ニ於
 テ取扱フヘシト指令セリ五月其後重テ同縣ヨ
 リ辛未年出納勘定仕上ケニ付曰小泉縣ヲ始メ
 外縣ニ共家祿未全先換渡置タル分更ニ精算ヲ
 加ヘ稟候ノ上下付ヲ得タキニ付業時ノ指令取
 消ヲ請フト申牒セラルヲ以テ乃テ申スル所不都
 合ナレト聽取シ本年七月ノ指令ハ取消ヘシ但
 様高相違ノ稟并家祿渡方ノ儀ハ業時指令ノ如

了鮮スヘシト指令セリ九月二
 十七日

第百二號

司法省ヨリ滋賀縣管下江洲神崎郡服部村森野
 庄兵衛外一人曰叢原藩ハ調達金七十四百五拾
 圓同藩官員交替ノ際申継ナキニ由リ辛未年ノ
 公布期限内貴省ヘ申報セサル處同人共ヨリ右
 調達金ノ儀管廳ヘ稟報スシニ採用セサルヲ以
 テ當省ヘ出訴セシニ付審問スルニ全ク其縣權
 大屬山田秀實外一名失錯ナル事判然ニ付別紙
 ノ如ク至當ノ處置ニ及フヘシ就テハ證書調査



新調状

大藏省

ノ上公債處分ノ儀同縣ニ達旨アリ度ト裁判申渡案及原告訴狀勒定書山田秀實待罪書等ヲ副ヘテ商議セリ因テ森野在兵衛山田新次郎調達金ノ儀山田秀實ノ粗漏判然タルニ付當省ニ於テ調査ノ上公債ノ處分ニ及フヘシト回答セリ
九月二十七日

第三百三號

白川縣ヨリ舊縣本縣堤防及ヒ其他營繕事未十月ヨリ至申三月迄ノ費用庚午年諸費仕拂殘金ヲ以テ定拂セシニ由リ證書ヲ以テ下付ヲ請フ

ト稟候セリ因テ右費用金六萬九千七百三拾八圓四拾貳錢八厘庚午年收入殘金ノ内ヲ以テ支給セシ上ハ別ニ證書ヲ下付セラルニ付同年勅定拂ニ立ツヘシト指令セリ
九月三日

第三百四號

青森縣ヨリ回弘前藩ニ管下今村九九衛門外四名ヨリ洋銀壹萬弗調達セシ分下ケ金ナキニ由リ眞債ニ組入向ニ申牒セシニ右ハ洋人ノ一ク此ヨリ同藩ニ借入金ニテ期限ニ迫リ遷延シ難ク然ルニ古九九衛門ハ家事不如意ニテ已ニ司

青森縣

大藏省

法省へ身代限ノ調差出ルシニ由リ餘儀ナク
藤慶次郎外貳名ニテ金壹萬五百圓調達ハ
ルハ償却スシ金筋ニ付一時下ケ渡ノ儀ヲ懇願
セルニ付採用ヲ請フト別紙慶次郎歎願書ヲ副
テ申牒セリ因テ事情餘儀ナク相聞ルト雖モ現
今所持ノ證書面ニテハ尋常一様ノ内國債ニ付
懇願ノ趣聽許シ難シ本年第八十二号公布ニ基
キ負債一般ノ處分タルヘキ儀ト心得ハク但公
債證券下渡ノ際今村九九衛門餘名ノ儀ハ申立
ノ趣聽取セリト指令セリ
九月三日

第百五號

滋賀縣ヨリ向キニ申牒セシ管内蒲生郡八幡町
山田新次郎神崎郡服部村森野庄兵衛兩人組合
ニテ旧藏原藩へ調達金調書ノ儀ハ兼テ奈令日
限中當縣廳へ上進セシニ其後六申正月中主務
官員調達ヲ以テ下戻セシ趣ニテ債主共司法省
裁判所へ出訴セシニ由リ同所ヨリ商議ナルヲ
以テ再三査査セシニ權大屬山田秀實心得達ニ
テ下戻セシ趣ナルニ由リ同人手續書等ヲ同所
へ差出シ置ケルニ由リ右新次郎庄兵衛兩人調



和言水

大藏省

達金ハ公債一般ノ處分ヲ得シト其手續書ヲ副
 テ申牒セリ是ニ於テ山田新次郎外一名曰嚴原
 藩ハ調達金證書公布期限中届出シテ權大屬山
 田秀實粗忽ノ取扱ヲ以テ下ケ交ル實跡判然
 セシニ付格別ノ會議ヲ以テ採用シ一般ノ處分
 及フヘリ奈此旨申渡スヘシ但證書面ニ記載セ
 シ牧野與兵衛ハ退身右出金ニ關係セサル由ナ
 レト本人具狀書ナキニ因リ尚取犯シ申出スヘ
 シト指令セリ
 九月三十日

第百六號

千葉縣ヨリ管下植生郡北邊田村外二十五ヶ村
 曰淀藩外一藩ハ調達金調漏ノ儀ニ付主務ノ曰
 官員生間信安呼出シ訊問セシニ辛未十一月公
 布ノ趣ハ總代人ハ口達シ勅定書ヲ取り曰淀縣
 ヲリ京都府ハ進達セシノミニテ曰印旛縣ハ土
 地人民引渡ノ條別ニ申送ス且外一藩ハ調達
 金ノ儀モ公布ハ口達ノミニテ確證トスヘキモ
 ノナシ故ニ達シ漏ノ程モ計リ難キニ付租漏ノ
 段恐懼ニ堪ヘスト生間信安外一人ヨリ進退伺
 書ヲ差出セリ就テハ證書寫扁漏ハ村方ノ罪ニ

青果天

大藏省

非ナレハ格別ノ高議ヲ以テ負債一般ノ處分ヲ
得ント右ニ關スル書類ヲ添テ進達シ且申スル
所採用ヲラハ其畧類一旦下付ヲ得テ金高年限
利息ノ有無内請取ノ次第等詳細取調更ニ進達
スヘシト申牒セリ是ニ於テ曰淀藩外一藩ハ調
達金證書寫差出シ方期限後レノ事情餘儀ナキ
次第ニ付負債一般ノ處分ニ及フヘシ因テ其書
類ハ下付スルニ由リ詳細取調至急差出スヘク
且曰官員處罰ノ儀ハ其縣裁判所ハ附托シ處分
濟ノ上進テ申報スヘシト指令セリ九月三

第七百號

鹿兒嶋縣ヨリ曰鹿兒嶋縣辛未年十月ヨリ申
年九月迄ノ營繕費用ノ儀ハ證書ヲ以テ租税上
納ニ立受取方申出ヘシトノ旨曩ニ指令ヲ領セ
リト雖モ同年ノ租税ハ諸費概算ニモ不足ニ付
都城縣租税ノ内米三萬石ヲ下付アリ之ヲ以テ
元ハ差加ハ諸費進拂勘定ニ立テタルニ殘米九
千六百石余之レ有ルニ由リ營繕費用ノ分右殘
米ノ内ヲ以テ任拂勘定拂ニ立度然ル上猶殘米
貳百石余越高ニ立テ申十月十一月勘定元ニ租



入シト使請セリ因テ旧同縣管轄賣米金トモ合
米九千三百八拾五石九斗六升四合仕拂ノ儀残
米九千五百九拾三石貳斗七合ノ内ヲ以テ勘定
拂ニ立差引猶殘米貳百七石貳斗四升三合ノ中
十月へ越高ニ付勘定元ニ立度トノ儀更ニ上申
ノ旨餘儀ナキ筋ヲ以テ攝取セラルニ由リ最前指
揮ノ旨ハ取消ヘシト指令セリ九月三日
第百八號

奈良縣ヨリ向キニ曰諸藩負債調査トシテ貴省
官員出張ノ節當管内大和國葛下郡録田村藤井

仲治曰正生藩會計掛ノ者ヨリ受取證書ノ文字
ヲ竊ニ改書シ上納銀ヲ以テ貸銀ノ体ニ装演シ
上進セシニ由リ札問ノ上本月二十五日別紙ノ
如ク不意爲ノ重ニ依リ懲役七十日ニ處セリト
稟報セリ九月三十日

國債頭郷純造

明治七年十二月 大藏卿大隈重信



行果大 大藏省